



Title	業績リスト(2007)
Author(s)	
Citation	大阪大学看護学雑誌. 2008, 14(1), p. 41-72
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/56752
rights	©大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

業績リスト (2007)

看護実践開発科学講座

I 論文

1. 学術論文

1. Enomoto T, Ide T, Ogino S Construction of an environmental exposure unit and investigation of the effects of cetirizine hydrochloride on symptoms of cedar pollinosis in Japan. *J Investig Allergol Clin Immunol* 2007; 17(3): 173-181
2. S.Nakahira, S.Nakamori, M.Tsujie, Y.Takahashi, J.Okami, S.Yoshioka, M.Yamasaki, S.Marubashi, I.Takemasa, A.Miyamoto, Y.Takeda, H.Nagano, K.Dono, **Umeshita K.**, M.Sakon, M.Monden. Involvement of ribonucleotide reductase M1 subunit overexpression in gemcitabine resistance of human pancreatic cancer. *Int J Cancer* 120:1355-1363, 2007.
3. T.Wakasa, K.Wakasa, T.Shutou, S.Hai, S.Kubo, K.Hirohashi, **Umeshita K.**, M.Monden. A histopathological study on combined hepatocellular and cholangiocarcinoma: cholangiocarcinoma component is originated from hepatocellular carcinoma. *Hepato-gastroenterol* 54:508-513, 2007.
4. M.Tsujie, S.Nakamori, S.Nakahira, Y.Takahashi, N.Hayashi, J.Okami, H.Nagano, K.Dono, **Umeshita K.**, M.Sakon, M.Monden. Human equilibrative nucleoside transporter 1, as a predictor of 5-fluorouracil resistance in human pancreatic cancer. *Anticancer Research* 27:2241-2250, 2007.
5. S.Marubashi, K.Dono, H.Nagano, T.Asaoka, N.Hama, S.Kobayashi, A.Miyamoto, Y.Takeda, **Umeshita K.**, M.Monden. Postoperative hyperbilirubinemia and graft outcome in living-donor liver transplantation. *Liver Transpl* 13: 1538-1544, 2007.
6. H.Nagano, A.Miyamoto, H.Wada, H.Ota, S.Marubashi, Y.Takeda, K.Dono, **Umeshita K.**, M.Sakon, M.Monden. Interferon- α and 5-fluorouracil combination therapy after palliative hepatic resection in patients with advanced hepatocellular carcinoma, portal venous tumor thrombus in the major trunk, and multiple nodules. *Cancer* 110: 2493-2501, 2007
7. Shimizu Y. Barbara L Paterson: A cross-cultural comparison of the developmental evolution of expertise in diabetes self-management. *Journal of Clinical Nursing*,
- 16 Issue 11c:350-357,2007
8. Makimoto K, Lee EA, Kang Y, Yamakawa M, Ashida N, Shin KR. Temporal patterns of movements in institutionalized elderly with dementia during 12-consecutive days observation in Seoul, Korea. *Am J Alz Dis Other Dementia* accepted for publication, Nov. 2007.
9. Tsuchida T, **Makimoto K**, Ohsako S, Fujino M, Kaneda M, Miyazaki T, Fujiwara F, Sugimoto T. Relationship between catheter care and catheter-associated urinary tract infection at Japanese general hospitals: A prospective observational study. *Internat J Nurs Studies* 2008
10. Tsuchida T, **Makimoto K**, Toki M, Sakai K, Onaka E, Otani Y. The effectiveness of a nurse-initiated intervention to reduce catheter-associated bloodstream infections in an urban acute hospital: An intervention study with before and after comparison. *Internat J Nurs Studies* 44:1324-1333, 2007
11. Greiner C, **Makimoto K**, Suzuki M, Yamakawa M, Ashida N. Feasibility study of the integrated circuit tag monitoring system for dementia residents in Japan. *Am J Alz Dis Other Dementia* 22(2)129-136, 2007.
12. Fujisaki K. A Structural Equation Model Analysis of Psychosomatic Sufferings in Adult Asthma Patients. *The Japanese Journal of Family Practice* 13 (2) : 4-13, 2007
13. Yamakawa M, **Makimoto K**. Positive experiences of type 2 diabetes in Japanese patients: an exploratory qualitative study. *Internat J Nur Stud* (in press)
14. Kawasaki Y , Uchinuno A , Makino S , Numata Y , Kobayashi T , Sakashita R , Arao H : Development of pamphlets for cancer patients in disaster situations based on the study of cancer patients' care needs. *Japan Journal of Nursing Science*, 4(1) 39–43, 2007.
15. Arao H, Numata Y, Kawasaki Y, Makino S, **Kobayashi T**, Sakashita R, Uchinuno A : Actual circumstances of treatment and nursing care for cancer patients in disaster situations : A survey of nurses who experienced the Great Hanshin-Awaji Earthquake. *Japan Journal of Nursing Science*, 4(2) 111-119, 2007.
16. Nomura M, **Makimoto K**, Kato M, Kamae K, Mouri S, Shiba T, Matsuura C, Shigenobu K, Ishikawa T, Ikeda M. Empowering the elderly with early-stage dementia and family caregivers: A participatory action research.

- Internat J Nur Stud 2008
17. M.Nakamura, Y.Kido, M.Yano, Y.Hosoya,H .Nagai,M. Monden:PostoperativeGastrointestinal Dysfunction between 2-field Versus 3-field Lymph Node Dissection in Patients with Esophageal Cancer. Surgery Today. 37(5):379-82. 2007
 18. Taguchi T, Yano M, Kido Y. Influence of bright light therapy on postoperative patients: a pilot study. Intensive Crit Care Nurs. 2007 Oct;23(5):289-97. 2007
 19. 荻野 敏, 門田亜矢, 有本啓恵, 入船盛弘, 大川内一郎, 菊守 寛, 瀬尾 律, 竹田真理子, 玉城晶子, 馬場謙治 一般開業医における小児アレルギー性鼻炎の実態と診断における問題点 耳鼻 2007 年 53巻 2 号 83-89 頁
 20. 土田敏恵, 牧本清子, 吉田寿美子, 大迫しのぶ, 竹末芳生. 高齢尿道カテーテル留置患者における臨床症状/兆候による細菌尿推定の試み 環境感染 22(4), 2007.
 21. 平田真紀, 内田雅子 看護大学生の食習慣と知識、および健康への関心の関係 大阪大学看護学雑誌, 13(1) : 9-17, 2007
 22. 遠藤淑美, 吉本照子, 杉田由加里, 坂田三允, 酒井郁子 悪性腫瘍を合併した統合失調症患者の看護援助に関する研究 精神科看護 2007 34巻 2号 42-48.
 23. 福録恵子, 藤田淳子 円背をもつ骨粗鬆症患者の睡眠実態調査 日本看護学会論文集:老年看護 2007 年 37 号 236-238 頁
 24. 吹田麻耶, 鈴木純恵 クローン病者の食事を通じた他者との関わりの体験, 日本難病看護学会, 12(2) , 1-8, 2007
 25. 藤井つかさ, 荻野 敏, 有本啓恵, 入船盛弘, 岩田伸子, 大川内一郎, 菊守 寛, 瀬尾 律, 竹田真理, 玉城晶子, 馬場謙治, 野瀬道宏 SF-8 と JRQLQ の相関一スギ花粉症を対象に アレルギー 2007 年 56号 2巻 109-117 頁
 26. 藤井つかさ, 荻野 敏 SF-8 と JRQLQ の相関一スギ花粉症を対象に Prog. Med 2007 年 27巻 11号 2680 -2, 686 頁
- ## 2. 会議録
1. Fukuroku K, Fujita J Survey of sleep disorder in patients with osteoporosis. ICN Conference 2007, 28, P.2.134
 2. 篠原有美, 遠藤淑美 精神科病棟における居室性を兼ね備えた保護室のメリットとデメリット一看護師の視点から一 第 19 回大阪府看護研究学会抄録集 2007 年 12 月 89 頁
3. 山本雅子, 酒井郁子, 湯浅美千代, 末永由理, 遠藤淑美, 島田広美, 染谷さち代 回復期リハビリテーション病棟に入院中の高齢脳卒中患者の QOL の推移 第 1 報 第 38 回日本看護学会抄録集 2007 年 179 頁
 4. 酒井郁子, 湯浅美千代, 末永由理, 遠藤淑美, 島田広美, 山本雅子, 染谷さち代 高齢脳卒中患者の自我発達を促進する看護理論に基づいた学習プログラムの開発と評価一回復期リハビリテーション病棟看護師への介入と効果一第 12 回日本老年看護学会学術集会抄録集 2007 年 11 月 106 頁
 5. 福録恵子, 藤田淳子 円背患者の身体能力と日常生活活動量との関係 日本看護研究学会雑誌 2007 年 6 月 175 頁
 6. 福録恵子, 藤田淳子 円背患者の転倒恐怖感と日常生活活動量および身体能力との関係 日本老年看護学会 2007 年 11 月
 7. 福録恵子, 藤田淳子 円背患者のバランス能力と転倒恐怖感との関連性 第 27 回日本看護科学学会学術集会講演集 2007 年 12 月
- ## 3. 研究報告
1. 太田英夫, 永野浩昭, 梅下浩司, 若狭研一, 門田守人 門脈内腫瘍栓を伴う混合型肝癌の 1 切除例 日臨外医会誌 2007 年 68巻 1 号 172-178 頁
 2. 種 依子, 小林和子, 宮崎絹子, 有馬美緒子, 梅下浩司, 中田精三, 花村 亮, 川本 武 手術用のディスポ患者衣導入に向けて一汚染防止シーツ・余剰消毒剤吸収紙を兼ねたガウンの考案一 手術医学 2007 年 28巻 2 号 116-118 頁
 3. 伏見 了, 中田精三, 宮下義弘, 梅下浩司, 有馬美緒子, 高階雅紀, 野口悟司, 加藤貴充, 川口弘之, 野口 亨, 永井元就 金属対応の電子タグを用いた手術用コンテナー管理に関する実験的検討 手術医学 2007 年 28巻 3 号 227-228 頁
 4. 加藤貴充, 中田精三, 梅下浩司, 野口悟司, 高階雅紀, 有馬美緒子, 永井元就 白刻印された二次元シンボル 2 年経過後の読み取り精度に関する検証 手術医学 2007 年 28巻 3 号 236-239 頁
 5. 加藤貴充, 中田精三, 梅下浩司, 高階雅紀, 伏見 了, 野口悟司, 有馬美緒子, 嶋田成美, 永井元就, 関野直己 泌尿器科用内視鏡手術器械への二次元シンボル刻印とその読み取り検証 手術医学 2007 年 28巻 3 号 239-242 頁
 6. 梅下浩司, 中田精三, 野口悟司, 加藤貴充, 高階雅紀, 有馬美緒, 伏見 了, 和田明文, 松永修一, 永井元就 貸出手術器械に対する二次元シンボル刻印

- とその読み取り検証について 手術医学 2007年 28巻3号 242-244頁
7. 中田精三, 梅下浩司, 松永謙一, 和田明文, 松本謙一, 永井元就, 村上元, 高階雅紀, 加藤貴充, 有馬美緒子, 野口悟司, 伏見了 二次元シンボルによる貸出し器械のトレーサビリティ 医器学 2007年 77巻 10号 104-105頁
 8. 伏見了, 宮下義弘, 藤井一壽, 梅下浩司, 中田精三, 藤澤俊, 山口範博, 真鍋美智子 包装内部用化学的インジケータ挿入・固定済み滅菌バッグの有用性について 医器学 2007年 77巻 10号 141-142頁
 9. 内海桃絵, 山田正己, 清水潤三, 宮本敦史, 梅下浩司, 小林哲郎, 門田守人, 牧本清子 消化器外科手術における手術部位感染のリスク因子の検討 環境感染 22(4), 2007.

4. 大学・研究所等の報告

1. 新人臨床実践能力検討プロジェクト(遠藤淑美, 坂田三允, 金山正子, 葛西淑子, 菅真司) 精神科における新卒新人看護職員に対する看護技術チェックリストおよび研修プログラム 平成18年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業新人看護職員臨床技能向上推進事業報告書 2007年
2. 酒井郁子, 吉本照子, 杉田由加里, 吉永勝訓, 湯浅美千代, 綿貫成明, 末永由理, 遠藤淑美 回復期リハビリテーション病棟における高齢脳卒中患者のQOLを高める看護援助 平成17-18年度科学研究費補助金(基盤C)研究成果報告書 2007
3. 尾崎麻也子, 橋本満, 山中浩司, 心光世津子, 工藤直志, 竹内慶至 医療スタッフアンケート調査の概要と報告 平成16年度~18年度科学研究費補助金 基盤研究C 研究成果報告書 研究代表者 山中浩司「臨床文化の行方—医療の標準化と臨床文化ー」2007年3月 15-80頁
4. 尾崎麻也子, 橋本満, 山中浩司, 心光世津子, 工藤直志, 竹内慶至 電子カルテと医療現場—インタビュー調査とアンケート調査から— 平成16年度~18年度科学研究費補助金 基盤研究C 研究成果報告書 研究代表者 山中浩司「臨床文化の行方—医療の標準化と臨床文化ー」2007年3月 127-138頁
5. 心光世津子 看護記録と電子カルテ—看護部門における電子カルテ導入への期待と課題から見えてくるものー 平成16年度~18年度科学研究費補助金 基盤研究C 研究成果報告書 研究代表者 山中浩司「臨床文化の行方—医療の標準化と臨床文化ー」2007年3月 183-197頁

5. 解説・総説

1. 萩野敏 小児と成人のアレルギー性鼻炎薬物療法の違い JOHNS 2007年 23巻 2号 181-185頁
2. 萩野敏 花粉症のガイドラインから見た薬物療法アレルギー・免疫 2007年 14巻 3号 324-328頁
3. 榎本雅夫, 稲田猛真, 萩野敏, 井手武 花粉曝露室を利用した薬剤や機能性食品の評価の現状と将来 臨床免疫・アレルギー科 2007年 47巻 4号 452-457頁
4. 萩野敏 アレルギー性鼻炎における新しい知見 鼻アレルギーフロンティア 2007年 7巻 1号 62-63頁
5. 和田浩志, 永野浩昭, 丸橋繁, 宮本敦史, 野田剛広, 小林省吾, 武田裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 術前肝動脈塞栓術(TAE) 外科 2007年 69巻 5号 497-503頁
6. 永野浩昭, 丸橋繁, 宮本敦史, 武田裕, 小林省吾, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 下大静脈内に連続する腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する肝右葉切除術 消化器外科 2007年 30巻 1号 67-75頁
7. 小林省吾, 永野浩昭, 丸橋繁, 宮本敦史, 武田裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 関本貢嗣, 門田守人 転移性肝癌 外科治療 2007年 96巻増刊号 566-570頁
8. 永野浩昭, 丸橋繁, 小林省吾, 宮本敦史, 武田裕, 堂野恵三, 梅下浩司, 門田守人 術前・術中診断に基づく肝移植提供者に対する肝切除術 今日の移植 2007年 20巻 3号 193-198頁
9. 清水安子 セルフケア研究と予防看護学 糖尿病患者セルフケア能力測定ツール開発を通して 看護研究 2007年 40号 6巻 533-538頁
10. 藤崎郁 認知的中範囲理論:ボディイメージ 月刊ナーシング 2007年 27巻 12号 110-115頁
11. 藤崎郁 基礎看護学—その概要と学校図書館に期待する役割 看護と情報 2007年 14巻 3-7頁
12. 内田雅子 第2章 保健行動中範囲理論 病みの軌跡理論 理論編 月刊ナーシング 増刊号 2007年 27巻 12号 34-41頁
13. 王靈芝, 遠藤淑美, 大野ゆう子 中医学とは何か 精神科看護 34巻 1号 54-57
14. 王靈芝, 遠藤淑美, 大野ゆう子 体質を知ろう 精神科看護 34巻 2号 54-57
15. 王靈芝, 遠藤淑美, 大野ゆう子 精神変化と病気 精神科看護 34巻 3号 54-57
16. 王靈芝, 遠藤淑美, 大野ゆう子 中医学から見た統合失調症 精神科看護 34巻 4号 56-59
17. 王靈芝, 遠藤淑美, 大野ゆう子 統合失調症の診断

- と治療法 精神科看護 34巻5号 56-59
18. 王靈芝, 遠藤淑美, 大野ゆう子 花粉症の見方および治療と予防 精神科看護 34巻6号 58-61
 19. 王靈芝, 遠藤淑美, 大野ゆう子 便秘について 精神科看護 34巻7号 55-58
 20. 王靈芝, 遠藤淑美, 大野ゆう子 舌と病気 精神科看護 34巻8号 56-59
 21. 王靈芝, 遠藤淑美, 大野ゆう子 不眠症の見方 精神科看護 34巻9号 56-59
 22. 王靈芝, 遠藤淑美, 大野ゆう子 冷え症 精神科看護 2007 34巻10号 57-61
 23. 王靈芝, 遠藤淑美, 大野ゆう子 秋の養生 精神科看護 2007 34巻11号 61-64
 24. 王靈芝, 遠藤淑美, 大野ゆう子 中医学の現状とアメリカにおける発展 精神科看護 2007 34巻12号 58-61
 25. 遠藤淑美 看護師として育つ・育てる 教えることの限界を超るために 精神科看護 2007 34巻4号 12-16.
 26. 吹田麻耶, 鈴木純恵 クローン病者のQOL研究の現況, 日本看護研究学会, 30(5), 77-82, 2007
 27. 藤井つかさ, 荻野 敏 アレルギー性鼻炎の増悪因子 アレルギーの臨床 2007年27巻 594-598頁

6. その他

1. 鈴木純恵 “教える力”を身につける院内研修の構築—OJTによるリーダーシップ育成の試みー, Nursing Business, 1 (5), 66-71, 2007

II 著書

1. 一般著書

1. 梅下浩司, 門田守人 肝移植 跡見 裕, 炭山嘉伸, 門田守人編 消化器外科学レビュー2007—最新主要文献と解説— 2007年 85-90頁 総合医学社
2. 梅下浩司, 門田守人 長期予後 清澤研道, 市田隆文編 肝移植診療ガイドブック 2007年 70-77頁 アークメディア

2. 専門著書

1. 荻野 敏(分担) 抗IgE抗体療法による花粉症治療 花粉症と周辺アレルギー疾患(斎藤博久;編集) pp172-173, 2007年 診断と治療社
2. 清水安子 糖尿病患者のセルフケア獲得のプロセス 糖尿病看護の実践知 事例からの学びを共有するために 正木治恵監修 黒田久美子, 濑戸奈津子, 清水安子編集 2007年 75-87頁 医学書院
3. 牧本清子 事例で学ぶ医療関連感染のサーベイランス-EBMに基づく感染管理のために メディカ出版

2007年1月

4. 鈴木純恵 教育の意義と目的; (社)日本精神科看護技術協会監修; 実践 精神科看護テキスト—看護教育研究— 2007年 10-39頁 精神看護出版
5. 鈴木純恵, 金子昌子 看護教育制度; (社)日本精神科看護技術協会監修; 実践 精神科看護テキスト—看護教育研究— 2007年 30-55頁 精神看護出版
6. 内田雅子 第10章 量的研究デザインを理解する 黒田裕子, 中木高夫, 小田正枝, 逸見功監訳 バーンズ&グローブ 看護研究入門—実施・評価・活用— 2007年 226-247頁 エルゼビア・ジャパン
7. 遠藤淑美 自己概念反応と解離性障害 看護学名著シリーズ 精神科看護原理と実践 原著第8版 安保寛明, 宮本有紀監訳 2007年 416-455 エルゼビア・ジャパン
8. 遠藤淑美 学習障害 小児看護ハンドブック 病態生理と看護診断 石黒彩子 山田知子監訳 2007 63-68 医学書院
9. 遠藤淑美 自殺 小児看護ハンドブック 病態生理と看護診断 石黒彩子 山田知子監訳 2007 216-221 医学書院
10. 遠藤淑美 神経性大食症 小児看護ハンドブック 病態生理と看護診断 石黒彩子 山田知子監訳 2007 243-248 医学書院
11. 遠藤淑美 神経性無食欲症 小児看護ハンドブック 病態生理と看護診断 石黒彩子 山田知子監訳 2007 249-256 医学書院
12. 遠藤淑美 精神遅滞 小児看護ハンドブック 病態生理と看護診断 石黒彩子 山田知子監訳 2007 307-321 医学書院
13. 遠藤淑美 注意欠陥/多動性障害 小児看護ハンドブック 病態生理と看護診断 石黒彩子 山田知子監訳 2007 393-399 医学書院
14. 遠藤淑美 心理社会的な介入 小児看護ハンドブック 病態生理と看護診断 石黒彩子 山田知子監訳 2007 768-771 医学書院
15. 遠藤淑美 ペプロウの看護理論「応用編」 新訂版 超入門事例でまなぶ看護理論 竹尾恵子監修 2007 83-94 学研
16. 小林珠実 がん看護コアカリキュラム 第V部オンコロジーエマージェンシー 19.構造的要因によるエマージェンシー 頭蓋内圧亢進 小島操子, 佐藤禮子監訳 日本がん看護学会教育研究活動委員会コアカリキュラムグループ委員訳 2007年 337-340頁 医学書院

3. 教科書

1. 藤崎 郁 IIリエゾン精神看護 : 3. 自己コントロールを高めるためのケア「2. ボディイメージ」 萱間真美編 精神看護実習ガイド 2007 年 273-275 頁 照林社
2. 遠藤淑美 チームにおける自己活用 天賀谷 隆, 遠藤淑美, 末安民生, 永井優子, 吉浜文洋編 実践精神科看護テキスト2 対人関係・グループアプローチ 2007 33-62 精神看護出版
3. 遠藤淑美 うつ病看護の現状と課題 天賀谷 隆, 遠藤淑美, 末安民生, 永井優子, 吉浜文洋編 実践精神科看護テキスト 11 うつ病看護 2007 62-78 精神看護出版

III 招聘講演・シンポジウム等**1. 国際学会 なし****2. 国内学会**

1. 荻野 敏 招聘講演「スギ花粉症の薬物治療・患者はどのような治療を望むか」 学術講演会「スギ花粉症の Up to Date—鼻アレルギーの基礎と臨床」 2007 年 1 月, さいたま市
2. 荻野 敏 招聘講演「スギ花粉症の薬物治療—患者はどのような治療を望むか」 郡山耳鼻科勉強会学術講演会 2007 年 1 月, 郡山市
3. 荻野 敏 招聘講演「患者の立場から見たアレルギー性鼻炎治療戦略」 第 5 回北摂地区開業医臨床研究会《耳鼻咽喉科》 2007 年 2 月, 大阪市
4. 荻野 敏 招聘講演「花粉症の診断と治療」 いわき市医師会学術講演会 2007 年 2 月, いわき市
5. 荻野 敏 招聘講演「アレルギー性鼻炎の診断と治療—小児アレルギー性鼻炎に焦点をあてて」 世田谷区、目黒区耳鼻咽喉科医会合同学術講演会 2007 年 2 月, 東京都
6. 荻野 敏 招聘講演「アレルギー性鼻炎治療—患者はどのような治療を望んでいるか」 第 3 回下野耳鼻咽喉科アレルギー・感染症研究会 2007 年 2 月, 小山市
7. 荻野 敏 招聘講演「花粉症（アレルギー性鼻炎）治療ポイント」 第 13 回「アレルギー週間」市民公開講座 2007 年 2 月, 大阪市
8. 荻野 敏 招聘講演「スギ花粉症の最新治療—患者の立場に立って」 アレルギー研修会 2006 長野 2007 年 3 月, 長野市
9. 荻野 敏 招聘講演「患者の立場から見たアレルギー性鼻炎治療戦略」 堺耳鼻咽喉科医学術講演会 2007 年 4 月, 堺市
10. 荻野 敏 招聘講演「アレルギー性鼻炎の治療」中部地区耳鼻咽喉科学術座談会 2007 年 11 月, 那霸市
11. 荻野 敏 招聘講演「アレルギー性鼻炎治療の最近の動向」 第 2 回最新薬物療法講座（大阪医薬品協会） 2007 年 11 月, 大阪市
12. 荻野 敏 招聘講演「アンケート調査から考える患者の望む花粉症治療とは何か」 花粉症に関するメディアセミナー 2007 年 11 月, 東京都
13. 梅下浩司, 中田精三 パネルディスカッション 医療機器の立ち会いについて—国立大学病院の立場から 第 29 回日本手術医学会総会 2007 年 9 月, 札幌市
14. 梅下浩司, 中田精三 シンポジウム 手術部の医療機器立会いについて—国立大学病院の現状と対策 第 12 回大阪府臨床工学技士会学術集会 2007 年 11 月, 大阪市
15. 梅下浩司 ランチョンセミナー レジストリーレポート—肝移植症例登録報告— 第 25 回日本肝移植研究会 2007 年 7 月, 東京都
16. 清水安子 シンポジウム 糖尿病教育・看護の実践 知の活用と伝承 第 12 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会 2007 年 9 月, 千葉
17. 鈴木純恵 招聘講演 摂食・嚥下障害看護—臨床における教育・指導— 愛知県立看護協会認定部 2007 年 11 月, 愛知
18. 鈴木純恵 招聘講演 教育実践論 日本精神科看護協会研修 2007 年 7 月
19. 鈴木純恵 招聘講演 教育評価の意義と方法 日本精神看護協会研修 2007 年 7 月
20. 藤崎 郁 レクチャー 看護診断のプロセス—その実際と臨床的意義について 第 13 回日本看護診断学会 2007 年 6 月, 大阪市
21. 藤崎 郁 教育講演 臨床で行う質的研究 第 9 回日本救急看護学会学術集会 2007 年 11 月, 吹田市
22. 遠藤淑美 シンポジウム 精神看護学分野における看護介入研究の方向を探る 平成 19 年度第 11 回日本看護研究学会 東海地方会学術集会 2007 年 3 月, 浜松
23. 遠藤淑美 招聘講演 悪性腫瘍を合併した統合失調症患者の看護の実態調査 「終末期リハビリテーションと看護」からのはじまり 第 14 回日本精神科看護学会老年期精神科看護学術集会 2007 年 11 月, 神奈川
24. 遠藤淑美 招聘講演 看護研究入門 ハートランドしげさん看護研修会 2007 年 5 月, 奈良
25. 遠藤淑美 招聘講演 チームの中の自己活用 エキ

- スパートナース養成研修Ⅲ 日本精神科看護技術協会 2007年9月、京都
26. 遠藤淑美 招聘講演 対人関係論 日本精神科看護技術協会 2007年6月

IV 学会一般演題

1. 國際学会

1. Hama N.、Dono K., Marubashi S., Goto K., Asaoka T., Miyamoto A., Takeda Y., Nagano H., Umeshita K., Yanagisawa Y., Watanabe S., Uchiyama Y., Monden M. Gene Expression Profile of Allograft Rejection in the Rat Liver Transplantation Model 13th Congress of the European Society for Organ Transplantation 2007, September, Prague
2. Yoshiyuki Takahashi, Mashaki Harue, Yashuko Kawai, Zhang Pinpin, Shimizu Y., Extracting Cultural Element Within The Process Of Development A Health Education Class For Pre-diabetic People Analysis The Awareness Of The Body - ICN CONFERENCE AND CNR. 2007, 27 May - 1 June Yokohama, Japan
3. Shimizu Y., Kumiko Kuroda, Harue Masaki, Kyoko Uchiumi Using meta-date-analysis and qualitative analysis on nursing practice, the development of the instrument to assess diabetes self-care agency The eighth international interdisciplinary conference, 2007, September, Banff, Canada
4. **Makimoto K.**, Lee KE, Lee JY, Ha MJ, Lee EA, **Yamakawa, M.**, Zhu, C., Ashida, N. Indicators of stability of ambulation among 8 residents in a dementia care unit, Soule, Korea. Poster presented at the 13th International Psychogeriatric Association Congress. Osaka. 2007.
5. Fujita K, **Makimoto K.** Important domain of QOL in elder arthritis patients. International Council of Nurses 2007, Yokohama, Japan.
6. Greiner C, **Makimoto K.**, Suzuki M, **Yamakawa M.** The reliability and validity of Japanese version of algase wandering scale version 2. International Council of Nurses 2007, Yokohama, Japan
7. Tsukasaki K, **Makimoto K.**, Kido T, Naganuma R. Differences in 24-hour blood pressure, biological measurement of sleep, and fatigue levels between gender in Japanese family caregivers. International Council of Nurses 2007, Yokohama, Japan
8. **Yamakawa M.**, Shigenobu K, **Makimoto K.**, Zhu C, Nagato C, Shimada M, Ashida N, Tabushi K.
9. Evaluating environmental control intervention for Fronto-temporal dementia with diurnal rhythm disturbance. Poster presented at the 13th International Psychogeriatric Association Congress. Osaka. 2007.
10. **Fukuroku K.**, Fujita J Survey of sleep disorder in patients with osteoporosis ICN Conference, 2007, May, Yokohama Japan
11. Utsumi M., Yamada M, Nishi I, Nabetani Y, Asari S, Tomono K, **Makimoto K.** Effectiveness of bacteruria screening using dipstick tests in catheterized patients. International Council of Nurses 2007, Yokohama, Japan
12. Yamada M, Utsumi M., Nishi I, Nabetani Y, Asari S, Tomono K, **Makimoto K.** Association of fecal incontinence and asymptomatic urinary tract infections in catheterized patients. International Council of Nurses 2007, Yokohama, Japan
13. Utsumi M., Yamada M, Nishi I, Nabetani Y, **Makimoto K.** Risk factors of catheter-associated urinary tract infections determined after adjustment for antibiotic treatment. 34th Annual APIC Educational Conference and International Meeting. San Jose, U.S.A.
14. Uesugi Y., **Makimoto K.**, Fujita K. The influence of osteoarthritis on hip patients in daily life. International Council of Nurses 2007, Yokohama, Japan
15. Greiner C., **Makimoto K.**, Suzuki M, **Yamakawa M** The reliability and validity of Japanese version of algase wandering scale version 2. International Council of Nurses 2007, Yokohama, Japan
16. Yanmabe E., Shigeyama Y., Fujii T, Haruyama Y., Ogino S Ocular symptoms and quality of life in patients with Japanese cedar pollinosis. 12th Congress of the International Rhinologic Society, December 2007, Venezia, Italy
17. Shigeyama Y., Yamabe E., Fujii, T, Ogino O Influence of pollen counts on quality of life in patients with Japanese cedar pollinosis: Comparison of 2006 and 2007. 12th Congress of the International Rhinologic Society, December 2007, Venezia, Italy
18. Nomura M., Kato M, **Makimoto K.**, Shiba T, Mouri S, Nishimura M, Matsuura C. Empowering the multi-disciplinary team through monthly activity program

- for the elderly with early stage dementia: an action research in a rural community. International Council of Nurses 2007, Yokohama, Japan
19. Miyoshi R, Yamakawa M, Shigenobu K, Makimoto K, Segawa N, Shimada M, Ashida N, Tabushi K. Association between activity level and the changes in bodyweight of people with dementia using the Integrated Circuit tag monitoring system. Poster presented at the 13th International Psychogeriatric Association Congress. Osaka. 2007.
 20. Segawa N, Yamakawa M, Shigenobu K, Makimoto K, Miyoshi R, Hasegawa I, Shimada M, Ashida N, Tabushi K. Association between the mean distance walked and the type of dementia measured by the IC tag monitoring system. Poster presented at the 13th International Psychogeriatric Association Congress. Osaka. 2007.
 21. Zhu C, Shigenobu K, Makimoto K, Yamakawa M, Hasegawa I, Shimada M, Ashida N, Tabushi K. Exploring factors associated with wandering in Alzheimer's disease patients using Integrated Circuit tag monitoring system. Poster presented at the 13th International Psychogeriatric Association Congress. Osaka. 2007.
 22. Utsumi M, Yamada M, Nishi I, Nabetani Y, Makimoto K. Risk factors of catheter-associated urinary tract infections determined after adjustment for antibiotic treatment. 34th Annual APIC Educational Conference and International Meeting. San Jose, U.S.A. 2007
- ## 2. 国内学会
1. 荻野 敏 後発医薬品（抗ヒスタミン薬）に変更したことにより全身倦怠感の出現をみたアレルギー性鼻炎症例 第25回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 2007年3月, 甲府市
 2. 荻野 敏 後発医薬品（抗ヒスタミン薬）に変更したことにより全身倦怠感の出現をみたアレルギー性鼻炎症例 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会 2007年11月, 横浜市
 3. 長野拓三, 荻野 敏, 重山優子 アトピー性皮膚炎患者のスキンケアの実態調査 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会 2007年11月, 横浜市
 4. 永野浩昭, 宮本敦史, 丸橋 繁, 武田 裕, 小林省吾, 梅下浩司, 堂野恵三, 左近賢人, 門田守人 進行肝細胞癌に対するIFN併用化学療法の有効性に関する臨床的・基礎的検討 第40回制癌剤適応研究会 2007年2月, 横浜市
 5. 浅岡忠史, 丸橋 繁, 堂野恵三, 濱直樹, 吉岡慎一, 後藤邦仁, 高橋秀典, 宮本敦史, 武田 裕, 竹政伊知朗, 永野浩昭, 梅下浩司, 加藤友朗, Phillip Ruiz, Andreas Tzakis, 松原謙一, 門田守人 肝移植後の急性拒絶に関する網羅的遺伝子発現解析 第107回日本外科学会定期学術集会 2007年4月, 大阪市
 6. 武田 裕, 中森正二, 橋高信義, 宮本敦史, 丸橋 繁, 稲村匡弘, 北川 透, 永野浩昭, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 進行膵癌克服への治療戦略(進行膵癌に対するGemcitabineと加速多分割照射法を用いた同時放射線化学療法) 第107回日本外科学会定期学術集会 2007年4月, 大阪市
 7. 中平 伸、中森正二、杉本圭司、富田尚裕、高塚雄一、辻江正徳、岡見次郎、竹政伊知朗、丸橋 繁、宮本敦史、武田 裕、永野裕昭、堂野恵三、梅下浩司、左近賢人、門田守人 膵癌におけるGemcitabine耐性機序の基礎的・臨床的検討 第107回日本外科学会定期学術集会 2007年4月, 大阪市
 8. 永野浩昭, 丸橋 繁, 宮本敦史, 濱 直樹, 浅岡忠史, 和田浩志, 野田剛広, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 当科における肝細胞癌に対する成人間生体肝移植の治療成績 第107回日本外科学会定期学術集会 2007年4月, 大阪市
 9. 野田剛広, 永野浩昭, 加藤仁, 山本浩文, 杉田ゆりか, Damdinsuren Bazarragchaa, 和田浩志, 丸橋 繁, 宮本敦史, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 肝癌細胞株におけるIFNAR2のDNAメチル化と脱メチル化剤によるIFNAR2の発現回復に関する検討 第107回日本外科学会定期学術集会 2007年4月, 大阪市
 10. 濱 直樹, 盧 震輝, 後藤邦仁, 堂野恵三, 丸橋 繁, 梅下浩司, 永野浩昭, 武田 裕, 宮本敦史, 浅岡忠史, 柳澤夕佳, 渡辺慎哉, 内山安男, 門田守人 ラット肝移植モデルにおける急性拒絶関連遺伝子の網羅的解析 第107回日本外科学会定期学術集会 2007年4月, 大阪市
 11. 丸橋 繁, 堂野恵三, 永野浩昭, 浅岡忠史, 濱 直樹, 後藤邦仁, 宮本敦史, 武田 裕, 梅下浩司, 門田守人 成人間生体肝移植におけるドナー術式選択と合併症 第107回日本外科学会定期学術集会 2007年4月, 大阪市
 12. 宮本敦史, 堂野恵三, 濱直樹, 野田剛広, 丸橋繁, 武田裕, 永野浩昭, 梅下浩司, 門田守人 中下部胆管癌に対する術式の検討 第107回日本外科学会定期学術集会 2007年4月, 大阪市
 13. 和田浩志、永野浩昭、山本浩文、中村将人、野田剛広, Damdinsuren Bazarragchaa, 丸橋 繁, 宮本敦史

- 史, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 インターフェロン- α /5-FU併用化学療法の肝細胞癌に対する血管新生抑制効果の検討 第107回日本外科学会定期学術集会 2007年4月, 大阪市
14. 野田剛広, 永野浩昭, 宮本敦史, 村上昌裕, 和田浩志, 小林省吾, 丸橋 繁, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 中森正二, 左近賢人, 門田守人 肝細胞癌に対するIFN併用化学療法の作用機序解明と効果予測をめざして 第10回肝癌再発予防研究会 2007年4月, 大阪市
15. 橋高信義, 竹政伊知朗, 武田 裕, 吉岡慎一, 和田浩志, 小林省吾, 丸橋 繁, 宮本敦史, 永野浩昭, 梅下浩司, 堂野恵三, 松原謙一, 門田守人 DNAマイクロアレイと遺伝子ネットワーク解析を組み合わせた肝細胞癌の発育・進展に関する遺伝子群の検索 第43回日本肝臓学会総会 2007年5-6月, 東京都
16. 永野浩昭, 吉岡慎一, 竹政伊知朗, 和田浩志, 野田剛広, 小林省吾, 丸橋 繁, 宮本敦史, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 松原謙一, 門田守人 網羅的遺伝子解析による肝細胞癌切除後の再発予測診断と個別化治療への展開 第43回日本肝臓学会総会 2007年5-6月, 東京都
17. 野田剛広, 永野浩昭, 和田浩志, 小林省吾, 丸橋 繁, 宮本敦史, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 中村仁信, 若狭研一, 門田守人 肝細胞癌腹膜播種に対する切除症例の臨床病理学的因子に関する検討 第43回日本肝臓学会総会 2007年5-6月, 東京都
18. 和田浩志, 永野浩昭, 山本浩文, 中村将人, 野田剛広, 小林省吾, 丸橋 繁, 宮本敦史, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 インターフェロン- α /5-FU併用化学療法の血管内皮細胞に対する抗血管新生効果の検討 第43回日本肝臓学会総会 2007年5-6月, 東京都
19. 小林省吾, 浅岡忠史, 堂野恵三, 濱 直樹, 野田剛広, 小林省吾, 丸橋 繁, 李 千萬, 宮本敦史, 武田 裕, 種村匡弘, 永野浩昭, 北川 透, 梅下浩司, 門田守人 肝移植時の無肝期～再還流時におけるアドリアマイシン血中濃度の変化 第19回日本肝胆脾外科学会 2007年6月, 横浜市
20. 武田 裕, 中森正二, 橋高信義, 堂野恵三, 宮本敦史, 小林省吾, 丸橋 繁, 李 千萬, 武田 裕, 種村匡弘, 永野浩昭, 北川 透, 梅下浩司, 門田守人 局所進行切除不能脾癌患者におけるGemcitabineと加速多分割照射法を用いた同時放射線化学療法第I/II相臨床試験 第19回日本肝胆脾外科学会 2007年6月, 横浜市
21. 永野浩昭, 宮本敦史, 丸橋 繁, 武田 裕, 小林省吾, 種村匡弘, 李 千萬, 北川 透, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 肝右葉切除術・手技習得のための要点 第19回日本肝胆脾外科学会 2007年6月, 横浜市
22. 野田剛広, 永野浩昭, 村上昌裕, 和田博志, 小林省吾, 丸橋繁, 宮本敦史, 武田裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 中村仁信, 若狭研一, 門田守人 非B非C型肝細胞癌切除症例の臨床病理学的因子に関する検討 第19回日本肝胆脾外科学会 2007年6月, 横浜市
23. 宮本敦史, 堂野恵三, 濱 直樹, 野田剛広, 小林省吾, 丸橋 繁, 李 千萬, 武田 裕, 種村匡弘, 永野浩昭, 北川 透, 梅下浩司, 門田守人 肝門部胆管癌に対する治療方針の検討 第19回日本肝胆脾外科学会 2007年6月, 横浜市
24. 和田浩志, 永野浩昭, 宮本敦史, 野田剛広, 小林省吾, 丸橋 繁, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 若狭研一, 門田守人 当科における混合型肝癌に対する肝切除術の治療成績および臨床病理学的検討 第19回日本肝胆脾外科学会 2007年6月, 横浜市
25. 野田剛広, 永野浩昭, 和田浩志, 小林省吾, 丸橋 繁, 宮本敦史, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 中村仁信, 若狭研一, 門田守人 肝細胞癌根治切除後10年無再生存例の臨床病理学的因子の検討 第43回日本肝癌研究会 2007年6月, 東京都
26. 野田剛広, 永野浩昭, 和田浩志, 小林省吾, 丸橋 繁, 宮本敦史, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 中村仁信, 若狭研一, 門田守人 当科における巨大血管腫9例の臨床病理学的因子の検討 第43回日本肝癌研究会 2007年6月, 東京都
27. 野田剛広, 永野浩昭, 村上昌裕, 和田博志, 小林省吾, 丸橋 繁, 宮本敦史, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 中村仁信, 若狭研一, 門田守人 肝細胞癌経皮的治療後腹膜播種性再発に対する切除症例の検討 第29回日本癌局所療法研究会 2007年6月, 東京都
28. 村上昌裕, 永野浩昭, 野田剛広, 和田博志, 小林省吾, 丸橋 繁, 宮本敦史, 武田 裕, 堂野恵三, 梅下浩司, 門田守人 IFN併用化学療法と肝切除で長期生存した進行肝細胞癌の1例 第29回日本癌局所療法研究会 2007年6月, 東京都
29. 小林省吾, 堂野恵三, 丸橋 繁, 濱 直樹, 浅岡忠史, 宮本敦史, 武田 裕, 種村匡弘, 北川 透, 永野浩昭, 梅下浩司, 門田守人 当教室におけるABO不適合肝移植の周術期管理とその成績 第25回日本肝移植研究会 2007年7月, 東京都

30. 永野浩昭, 丸橋 繁, 小林省吾, 宮本敦史, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 肝移植提供者における動脈・門脈・胆管断端処理について 第25回日本肝移植研究会 2007年7月, 東京都
31. 濱 直樹, 丸橋 繁, 堂野恵三, 浅岡忠史, 小林省吾, 宮本敦史, 武田 裕, 永野浩昭, 梅下浩司, 門田守人 肝移植後早期にC型肝炎再発を来した2例 第25回日本肝移植研究会 2007年7月, 東京都
32. 丸橋 繁, 堂野恵三, 永野浩昭, 小林省吾, 宮本敦史, 浅岡忠史, 濱直樹, 武田裕, 梅下浩司, 門田守人 肝細胞癌に対する成人生体肝移植-肝癌再発予防と再発予測- 第25回日本肝移植研究会 2007年7月, 東京都
33. 秋田裕史, 武田 裕, 中森正二, 丸橋 繁, 宮本敦史, 永野浩昭, 北川 透, 堂野恵三, 梅下浩司, 門田守人 当科における脾管内乳頭腫瘍(IPMN)手術症例の検討 第62回日本消化器外科学会定期学術総会 2007年7月, 東京都
34. 浅岡忠史, 丸橋繁, 堂野恵三, 濱直樹, 小林省吾, 宮本敦史, 武田裕, 永野浩昭, 梅下浩司, 門田守人 当院における生体肝移植後の胆管吻合部狭窄6例の経験 第62回日本消化器外科学会定期学術総会 2007年7月, 東京都
35. 小林省吾, 丸橋 繁, 宮本敦史, 武田 裕, 種村匡弘, 永野浩昭, 北川 透, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 肝移植における肝動脈再建と術後合併症、そしてその対策 第62回日本消化器外科学会定期学術総会 2007年7月, 東京都
36. 武田 裕, 中森正二, 宮本敦史, 小林省吾, 丸橋繁, 北川透, 永野浩昭, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 StageIVa局所進行脾癌に対する治療戦略 第62回日本消化器外科学会定期学術総会 2007年7月, 東京都
37. 野田剛広, 永野浩昭, 武田裕, 和田浩志, 小林省吾, 丸橋繁, 宮本敦史, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 肝臓癌術後管理のピットフォール、クリニカルパスについて 第62回日本消化器外科学会定期学術総会 2007年7月, 東京都
38. 濱 直樹, 丸橋 繁, 堂野恵三, 浅岡忠史, 小林省吾, 宮本敦史, 武田 裕, 永野浩昭, 梅下浩司, 門田守人 脾・胆道疾患合併症例に対する生体部分肝移植と胆管再建術式(胆管胆管吻合)の検討 第62回日本消化器外科学会定期学術総会 2007年7月, 東京都
39. 丸橋 繁, 堂野恵三, 永野浩昭, 浅岡忠史, 濱 直樹, 小林省吾, 宮本敦史, 武田 裕, 梅下浩司, 門田守人 ミラノ超肝癌に対する成人間生体肝移植再発予測と再発予防の取り組み 第62回日本消化器外科学会定期学術総会 2007年7月, 東京都
40. 宮本敦史, 堂野恵三, 小林省吾, 丸橋 繁, 武田 裕, 種村匡弘, 永野浩昭, 北川 透, 梅下浩司, 門田守人 胆道癌に対する拡大手術の適応に関する検討 第62回日本消化器外科学会定期学術総会 2007年7月, 東京
41. 村上昌裕, 丸橋 繁, 小林省吾, 宮本敦史, 武田 裕, 永野浩昭, 堂野恵三, 梅下浩司, 門田守人 生体部分肝移植術後にVOD・TMAを伴ったHCV末期肝硬変の1例 第62回日本消化器外科学会定期学術総会 2007年7月, 東京都
42. 和田浩志, 永野浩昭, 宮本敦史, 丸橋 繁, 小林省吾, 野田剛広, 武田 裕, 梅下浩司, 堂野恵三, 門田守人 血管内皮細胞に対する直接的なインターフェロン併用5-FU化学療法の血管新生抑制効果 第62回日本消化器外科学会定期学術総会 2007年7月, 東京都
43. 村上昌裕, 永野浩昭, 丸橋 繁, 野田剛広, 永井健一, 小林省吾, 武田 裕, 堂野恵三, 梅下浩司, 石田清隆, 門田守人 術前にCTシミュレーションソフトを用いた巨大肝細胞癌の1切除例 第2回肝癌治療シミュレーション研究会 2007年9月, 大阪市
44. 橋高信義, 竹政伊知郎, 武田 裕, 吉岡慎一, 小林省吾, 丸橋 繁, 宮本敦史, 永野浩昭, 梅下浩司, 堂野恵三, 松原謙一, 松浦成昭, 門田守人 Molecular mapping of human hepatocellular carcinoma to gain deeper biological insights from genomic data 第66回日本癌学会学術総会 2007年10月, 横浜
45. 永野浩昭, 丸橋 繁, 武田裕, 種村匡弘, 李千萬, 北川透, 宮本敦史, 小林省吾, 瀧口修司, 梅下浩司, 堂野恵三, 関本貢嗣, 門田守人 腹腔鏡補助下小切開開腹による肝切除術の経験 第1回日本肝臓内視鏡外科研究会 2007年11月, 仙台市
46. 小林省吾, 久保田勝, 橋本和彦, 丸橋 繁, 宮本敦史, 武田 裕, 永野浩昭, 堂野恵三, 梅下浩司, 門田守人 生体部分肝移植後の2つの肝再生パターン 第43回日本移植学会総会 2007年11月, 仙台市
47. 永野浩昭, 丸橋 繁, 宮本敦史, 濱 直樹, 浅岡忠史, 野田剛広, 武田 裕, 堂野恵三, 梅下浩司, 門田守人 肝細胞癌に対する生体肝移植の治療成績について 第43回日本移植学会総会 2007年11月, 仙台市
48. 丸橋 繁, 堂野恵三, 永野浩昭, 金致完, 浅岡忠史,

- 濱 直樹, 小林省吾, 宮本敦史, 武田裕, 梅下浩司, 門田守人 腎機能障害を有する末期肝硬変患者に対する肝移植における低用量カルシニューリン阻害剤を用いた免疫抑制法 第43回日本移植学会総会 2007年11月, 仙台市
49. 永野浩昭, 丸橋 繁, 小林省吾, 宮本敦史, 武田 裕, 堂野恵三, 梅下浩司, 門田守人 肝細胞癌に対する肝切除・肝移植-共通視点からみた外科治療戦略の重要性- 第69回日本臨床外科学会総会 2007年11-12月, 横浜市
50. 野田剛広, 永野浩昭, 村上昌裕, 小林省吾, 丸橋 繁, 宮本敦史, 武田 裕, 李 千萬, 種村匡弘, 北川 透, 堂野恵三, 梅下浩司, 門田守人 肝細胞癌切除術における周術期の新鮮凍結血漿(FFP)投与の必要性に関する検討 第69回日本臨床外科学会総会 2007年11-12月, 横浜市
51. 野田剛広, 永野浩昭, 竹政伊知朗, 和田浩志, 村上昌裕, 小林省吾, 丸橋繁, 宮本敦史, 武田裕, 堂野恵三, 梅下浩司, 松原謙一 肝癌細胞株におけるIFN-alpha/5-FU併用化学療法の獲得耐性関連遺伝子の検討 第37回日本肝臓学会西部会 2007年12月, 長崎市
52. 岡崎優子, 正木治恵, 清水安子, 高橋良幸 女性糖尿病患者の自己の健康管理と主婦役割のあり様 第12回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2007年9月, 千葉
53. 黒田久美子, 内海香子, 清水安子、麻生佳愛, 村角直子, 森小律恵, 正木治恵 糖尿病患者セルフケア能力測定ツールを活用した看護支援プログラムの開発の方向性 第12回日本糖尿病教育・看護学会学術集会 2007年9月, 千葉
54. 山本雅子, 酒井郁子, 湯浅美千代, 末永由理, 遠藤淑美, 島田広美, 染谷さち代 回復期リハビリテーション病棟に入院中の高齢脳卒中患者のQOLの推移 第1報 第38回日本看護学会 老年看護 2007年9月, 長崎
55. 篠原有美, 遠藤淑美 精神科病棟における居室性を兼ね備えた保護室のメリットとデメリット-看護師の視点から- 第19回大阪府看護研究学会 2007年12月, 大阪
56. 酒井郁子, 湯浅美千代, 末永由理, 遠藤淑美, 島田広美, 山本雅子, 染谷さち代 高齢脳卒中患者の自我発達を促進する看護理論に基づいた学習プログラムの開発と評価-回復期リハビリテーション病棟看護師への介入と効果- 第12回日本老年看護学会学術集会 2007年11月, 神戸
57. 師岡友紀, 谷浦葉子, 三木佐登美, 小林珠実, 福録恵子, 鈴木純恵 臨地実習時の身体侵襲を伴う看護技術の経験について(1)-経験状況と到達度評価の関連性の検討- 第27回日本看護科学学会学術集会 2007年12月, 東京
58. 師岡友紀, 谷浦葉子, 三木佐登美, 小林珠実, 福録恵子, 鈴木純恵 臨地実習時の身体侵襲を伴う看護技術の経験について(2)-新卒看護師の臨地実習に対する意向の分析から- 第27回日本看護科学学会学術集会 2007年12月, 東京
59. 小野博史, 田口豊恵, 表八洋子, 森田輝代, 河村公子, 師岡友紀, 宮田雅子, 城戸良弘 術後急性期における高照度光照射の有用性 第3回日本クリティカルケア看護学会学術集会 2007年6月, 福岡
60. 師岡友紀, 城戸良弘, 新開裕幸, 松岡真矢, 森久保裕, 福井良子 臨床看護師との共同教育による一次救命処置技術の演習効果について 第17回日本看護学教育学会学術集会 2007年8月, 福岡
61. 山川みやえ, 繁信和恵, 牧本清子, 朱燐群, 三好瑠美子, 濑川七重, 芦田信之 認知症高齢者の歩行距離と排便との関係-ICタグモニタリングシステムを用いた客観的指標による検討 第12回日本老年看護学会学術集会 2007年11月, 神戸
62. 山川みやえ, 牧本清子 感染性胃腸炎による隔離がアルツハイマー型認知症患者の行動に与える影響 (口演) 第33回日本看護研究学会学術集会 2007年7月, 盛岡
63. 福録恵子, 藤田淳子 円背患者の身体能力と日常生活活動量との関係 第33回日本看護研究学会学術集会 2007年7月, 盛岡市
64. 福録恵子, 藤田淳子 円背患者の転倒恐怖感と日常生活活動量および身体能力との関係 第12回日本老年看護学会 2007年11月, 神戸市
65. 福録恵子, 藤田淳子 円背患者のバランス能力と転倒恐怖感との関連性 第27回日本看護科学学会学術集会 2007年12月, 東京都
66. 吹田麻耶, 鈴木純恵 クローン病者の食事を通じた他者との関わりの体験, 日本難病看護学会, 12(1), 80, 2007年
67. 森谷利香, 鈴木純恵 Mishelの枠組みを用いた「不確かさ」の看護研究の分析、日本難病看護学会 12(1), 87, 2007年
68. 福田里沙, 坂田友美, 西田真由子, 牧本清子, 浅利誠志 気管支鏡洗浄・消毒関連機器等の管理の現状調査と今後の課題. 第22回日本環境感染学会総会 2007年2月, 横浜

69. 野村美千江, 柴珠実, 松浦千枝子, 西村道子, 加藤基子, 牧本清子, 宮内清子 地域型アクションリサーチによる認知症予防活動(1)－初期認知症者と家族へのプログラム開発 第66回日本公衆衛生学界 2007年10月, 松山市
70. 柴珠実, 野村美千江, 西村道子, 松浦千枝子, 加藤基子, 牧本清子, 宮内清子 地域型アクションリサーチによる認知症予防活動(2)－多職種チームの力量形成 第66回日本公衆衛生学界 2007年10月, 松山市
71. 上杉裕子, 藤田君支, 牧本清子 股関節症患者における主観的健康度の変化 その1－日本語版OHS.WOMACによる縦断調査 口頭発表 第27回日本看護科学学会学術集会 2007年12月, 東京
72. 藤田君支, 上杉裕子, 牧本清子 股関節症患者における主観的健康度の変化 その2－日本語版OHS.WOMACによる縦断調査 口頭発表 第27回日本看護科学学会学術集会, 東京 2007年12月, 東京
73. 内海桃絵, 山田正己, 西 功, 鍋谷佳子, 浅利誠志, 朝野和典, 牧本清子 救命救急センターにおける尿道カテーテル挿入患者の細菌尿発生要因の検討 第22回日本環境感染学会総会 2007年2月, 横浜
74. 山田正己, 内海桃絵, 西 功, 鍋谷佳子, 浅利誠志, 朝野和典, 牧本清子 尿路感染サーベイランスにおける尿試験紙の活用－尿試験紙の測定者間一致率の検討 第22回日本環境感染学会総会 2007年2月, 横浜
75. 山邊えり, 藤井つかさ, 萩野 敏 インターネット・アンケートを用いた花粉症患者の動向調査－4年間の比較 第25回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 2007年3月, 甲府市
76. 春山由美子, 藤井つかさ, 重山優子, 溝手千織, 山邊えり, 萩野 敏 SF-8を用いた大学生QOL:アレルギー性鼻炎の影響 第25回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 2007年3月, 甲府市
77. 重山優子, 藤井つかさ, 萩野 敏, 有本啓恵, 入船盛弘, 岩田伸子, 大川内一郎, 菊守 寛, 瀬尾 律, 竹田真理子, 玉城晶子, 馬場謙治, 野瀬道宏 スギ花粉症のQOLに与える花粉飛散量の影響:2005年と2006年の比較 第25回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 2007年3月, 甲府市
78. 山邊えり, 伊藤真貴, 竹内紀子, 萩野 敏 花粉症患者が治療薬へ寄せる期待－websiteを用いたアンケート調査より 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会 2007年11月, 横浜市
79. 竹内紀子, 藤井つかさ, 春山由美子, 溝手千織, 萩野 敏 SF-8を用いた大学生のQOL:アレルギー疾患合併の影響 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会 2007年11月, 横浜市
80. 重山優子, 萩野 敏, 藤井つかさ, 有本啓恵, 入船盛弘, 岩田伸子, 大川内一郎, 菊守 寛, 瀬尾 律, 竹田真理子, 玉城晶子, 馬場謙治, 野瀬道宏 スギ花粉症患者の症状およびQOLの経年比較:無治療群における2004年～2007年の動向 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会 2007年11月, 横浜市
81. 山邊えり, 萩野 敏, 藤井つかさ, 有本啓恵, 入船盛弘, 岩田伸子, 大川内一郎, 菊守 寛, 瀬尾 律, 竹田真理子, 玉城晶子, 馬場謙治, 野瀬道宏 花粉症患者のQOLに対する眼症状の影響－JRQLQ及びSF-8を用いて 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会 2007年11月, 横浜市
82. 伊藤真貴, 山邊えり, 萩野 敏 花粉症患者の生活様式の違いによるセルフケア・受診行動の差の調査:Web siteを用いたアンケート調査から 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会 2007年11月, 横浜市
83. 重山優子, 長野拓三, 萩野 敏 アトピー性皮膚炎患者のQOL:SF-8を用いて 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会 2007年11月, 横浜市
84. 伊藤真貴, 竹内紀子, 萩野 敏 花粉症による労働生産性への影響の研究(第1報)－ニンテンドーDSを用いて 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会 2007年11月, 横浜市
85. 荒木しのぶ, 吹田麻耶, 鈴木純恵 クローン病者の看護研究の動向, 日本難病看護学会 12(1), 86, 2007
86. 安江郁子, 飛田伊都子, 鈴木純恵 2001年から2006年におけるわが国の透析患者のQOLに関する看護研究の動向, 第27回日本看護科学学会学術集会講演集, 69, 2007年12月
87. 喜多寛恵, 加治屋文子, 森谷利香, 鈴木純恵 多発性硬化症患者に特有な疲労に対する介入研究(海外における)についての文献研究, 第27回日本看護科学学会学術集会講演集 69, 2007年12月

V 受賞 なし

VI 特許 なし

VII 共同研究・外部資金

- ユニバール財団研究助成金 高齢者入居施設における感染アウトブレイクの系統的レビューと対策 研究代表者 牧本清子, 芦田信之
- 科学研究費基盤(B)(海外)日韓共同研究によるITを用いた痴呆性高齢者のケア質評価指標の開発 研

- 究代表者 牧本清子、分担研究者：山川みやえ、泉
キヨ子、鈴木みづえ
3. 糖尿病セルフケア能力測定ツールを活用した看護援助プログラムの開発 清水安子（研究代表者）、黒田久美子、内海香子、麻生佳愛、村角直子、正木治惠
科学研究費補助金 特別研究促進費（基盤 C）2007年
 4. 心臓外科手術後患者の身体感覚とボディイメージに焦点化した看護介入の開発とその評価 藤崎 郁（代表） 科学研究費補助金 萌芽研究 2007年
 5. 回復期リハビリテーション病棟における高齢脳卒中患者のQOLを高める看護援助 酒井郁子（代表）、吉本照子、杉田由加里、吉永勝訓、湯浅美千代、綿貫成明、末永由理、遠藤淑美 科学研究費補助金 基盤研究C 2006-2007年
 6. 高齢脳卒中患者の自我発達を促進する学習教材の開発 酒井郁子（代表）、湯浅美千代、遠藤淑美、佐藤広美、末永由理、荒木暁子 科学研究費補助金 基盤研究C 2007年-
 7. 運動機能障害のある要介護者への介助方法と生活行動の介入による自立度への効果 藤田淳子、福嶽恵子、山田京子、 科学研究費補助金、 基盤研究(C)、 2006-2007年
 8. 飲酒運転抑止における看護師の寄与に関する研究 心光世津子 科学研究費補助金 若手研究（スタートアップ）2007-2008年度

VIII 主催学会

1. 第19回大阪府看護研究学会学術大会 企画・実行委員長 藤崎 郁 2007年12月1日 大阪市
2. 2007年度近畿地区看護研究学会学術大会 企画・実行委員長 藤崎 郁 2008年1月24・25日 大阪市

生命育成看護学講座

I 論文

1. 学術論文

1. 藤原千恵子 メンタルヘルスにおける予防的看護ケア－患者と家族のレジリエンスの促進をめざして－、看護研究、40(6), 539-547, 2007.
2. 石井京子、藤原千恵子、河上智香、西村明子、新家一輝、町浦美智子、大平光子、上田恵子、仁尾かおり：患者のレジリエンスを引き出す看護者の支援とその支援に関する要因分析、日本看護研究学会

雑誌、30(2), 21-29, 2007.

3. 永井利三郎、阿曾洋子、荒木田美香子、伊藤美樹子、大塚敏子、奥野裕子、遠藤淑美、酒井佐枝子、高間さとみ、新家一輝、新田紀枝、藤原千恵子、横川しのぶ 子どもの心の発達に支援できる人材育成をめざす新しい学部教育の試み、脳21, 10: 237-243, 2007
4. 下野九里子、永井利三郎 小児期てんかんに対する新抗てんかん薬 臨床精神薬理 10: 573-580, 2007
5. 青天目信、沖永剛志、今井克美、神尾範子、下野九理子、永井利三郎、黒澤健司、大蔵恵一 1p36欠失症候群3例にみられたてんかんの検討 carbamazepineに対する反応について 脳と発達 39巻4号, Page289-294 2007/07/01
6. 伊予田邦昭、栗屋 豊、松石豊次郎、永井利三郎、田辺卓也、栗原まな、山本克哉、前川喜平 てんかん接種基準案による前方視的アンケート調査(最終報告)－難治なけいれん発作をもつ小児に対する予防接種実施に関する多施設共同調査－ 脳と発達 39:456-458, 2007
7. 新田紀枝、川端京子、高橋晃子、田中登美 ホスピス・緩和ケア病棟看護師の代替療法の習得の現状と要望 第37回日本看護学会論文集 看護教育 2006: 144-146, 2007
8. 新田紀枝、川端京子、高橋晃子、田中登美 ホスピス・緩和ケア病棟看護師の代替療法の実施の現状に関する調査 第37回日本看護学会論文集 成人看護 II 2006: 83-85, 2007
9. 高橋清子、永井利三郎、稻田 浩、塙見正司、高田慶応、藤丸李可、木野 稔、里村憲一、鈴木美智子、田辺卓也、田川哲三 病(後)児保育における利用者とそのかかわりに関する活動 保育と保健 13: 42-46, 2007
10. 竜岡久枝、玉里八重子 妊婦が認知する実母からのサポートの影響 滋賀母性衛生学会誌 2007年7月 33-38頁
11. 河上智香、藤原千恵子：在宅中心静脈栄養(HPN)を施行中の学童期の子どもと親のレジリエンス、第37回日本看護学会論文集－小児看護－、173-175, 2006.
12. 酒井佐枝子、加藤 寛 養育者の対人関係の持ち方が虐待傾向に及ぼす影響～子ども虐待予防に必要な視点を考える～ トラブルティック・ストレス 5巻2号 157-165頁
13. 新家一輝、藤原千恵子 小児の入院と母親の付き添いが同胞に及ぼす影響－同胞の情緒と行動の問題の程度と造成・背景因子との関連性－、小児保健

- 研究, 66 (4), 561-567.
14. 鈴井江三子, 大橋一友 妊婦の身体感覚と胎児への愛着の関連性 日本助産学会誌 2007/6, 21 (1), 6-16.
15. 矢野恵子, 大橋一友, 八木橋香津代, 塩沢直美, 此花愛子 不妊医療における多職種連携に求められる条件と期待される看護の役割—自由記載分析より— 日本不妊カウンセリング学会誌 2007/12, 6 (2), 1-5
- ## 2. 会議録
- 富永康仁, 星野奈津子, 新谷 研, 下野九里子, 沖永剛志, 永井利三郎, 大薗恵一 小児皮膚筋炎に対する低用量ステロイドとメソトレキセートの併用療法 脳と発達 39 : S196, 2007
 - 田辺卓也, 田川哲三, 荒井 洋, 今石秀則, 今北優子, 宇野理沙, 田中順子, 谷池雅子, 永井利三郎, 薮田玲子, 西田 勝, 栗屋 豊, 前川喜平神経疾患をもつ児の保護者に対する予防接種アンケート 脳と発達 39 : S207, 2007
 - 沖永剛志, 神尾範子, 新谷 研, 星野奈津子, 富永康仁, 下野九里子, 大薗恵一, 永井利三郎 幼児期発症の軸索型ギランバレー症候群の長期予後 脳と発達 39 : S344, 2007
 - 池田友美, 永井利三郎, 船戸正久, 安原昭博 大阪府の小児の在宅医療に関する実態調査 脳と発達 39 : S263, 2007
 - 下野九里子, 北井征宏, 新谷 研, 富永康仁, 星野奈津子, 沖永剛志, 永井利三郎, 大薗恵一 脊髄小脳変性症に伴うてんかんの臨床像 てんかん研究 25巻3号, 62 2007
 - 植田 仁, 今井克美, 沖永剛志, 下野九里子, 鈴木保宏, 鳥邊泰久, 松岡太郎, 田川哲三, 安倍治郎, 荒井 洋, 小野次朗, 永井利三郎 West症候群に対する短期隔日 ACTH 療法を取り入れた段階的治療の長期予後の検討 脳と発達 vol 39, Suppl. pageS142 2007/06/01
 - 坂藤昌子, 富永信子, 新田紀枝, 阿曾洋子 入院時に退院支援が必要と判断された患者の特性—退院支援スクリーニング票の分析から— 第38回日本看護学会抄録集—看護管理 2007年10月, 165
 - 安藤布紀子, 大橋一友 妊娠中に発症する腰痛と骨盤痛が妊娠中の日常生活の活動に及ぼす影響 日本助産学会誌 2007/3, 20 (3), 68
 - 鈴井江三子, 大橋一友 妊婦身体感覚尺度の信頼性・妥当性の検討 日本助産学会誌 2007/3, 20 (3), 69

10. 久我原朋子, 大橋一友 唾液検査による歯周疾患ハイリスク妊婦のスクリーニング 日本助産学会 日本助産学会会誌 2007/3, 20 (3), 110
11. 新川治子, 島田三恵子, 早瀬麻子, 乾つぶら 妊娠初期の睡眠パターンと眠気. 日本睡眠学会第32回学術集会抄録集 2007年11月 276頁
12. 早瀬麻子, 島田三恵子, 乾つぶら, 新川治子 産後の母親と乳児との睡眠覚醒リズムの関連. 日本睡眠学会第32回学術集会抄録集 2007年11月 297頁
13. 乾つぶら, 島田三恵子, 早瀬麻子, 新川治子 妊娠末期から産後4か月までの睡眠の質の変化 日本睡眠学会第32回学術集会抄録集 2007年11月 297頁
14. 増山結花, 中嶋有加里, 山口雅子, 大橋一友 医療分野における妊婦のシートベルト着用に関する海外文献の動向 大阪母性衛生学会雑誌 2007/7, 43 (1), 108-114.
- ## 3. 研究報告
- 永井利三郎 ACTH治療後の予防接種基準に関する研究 -H18年度文献調査- ワクチンの安全性向上ための品質確保の方策に関する研究 ワクチンの安全性向上のための品質確保の方策に関する研究班総会資料 page97-98
 - 田辺卓也, 栗屋 豊, 松石豊次郎, 伊与田邦昭, 永井利三郎, 栗原まな, 山本克哉, 皆川公夫, 前川喜平, 田川哲三 神経疾患をもつ児の保護者に対する予防接種アンケート ワクチンの安全性向上のための品質確保の方策に関する研究 研究班総会資料 page 101-106
 - 伊与田邦昭, 松石豊次郎, 永井利三郎, 田辺卓也, 栗原まな, 小西 徹, 山本克哉, 皆川公夫, 栗屋 豊, 前川喜平 予防接種後、発作増悪を認めた小児難治てんかん例の検討 ワクチンの安全性向上のための品質確保の方策に関する研究 研究班総会資料 page107-110 2007/03/01
 - 武井典子, 藤本篤士, 大橋一友, 岩久正明 自立高齢者の口腔の健康とWHO/QOLの関係および口腔機能向上支援によるQOLへの貢献 平成18年度8020公募研究事業研究報告書 2007/6, 53-82
 - 島田三恵子, 杉本充弘, 縣 俊彦, 大橋一友, 新田紀枝, 町田利正, 関 和男, 久具宏司, 森 臨太郎, 岡本喜代子, 神谷整子, 村上睦子, 中根直子, 戸田律子, 富田直子, 神徳敦子, 諏訪敏幸 科学的根拠に基づいた快適な妊娠出産のためのガイドラインの開発に関する研究 平成18年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)総括・分担報告書1-275頁 2007年3月

6. 島田三恵子 厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究事業）科学的根拠に基づいた快適な妊娠出産のためのガイドラインの開発に関する研究 平成17～18年度総合研究報告書1-284頁 2007年3月
7. 鈴木 茜，渡辺多恵子，佐藤千織，甲斐友佳，竜岡久枝，松浦賢長，山崎嘉久，山中龍宏，山縣然太朗 親子の社会的健康度を育むための支援に視する乳幼児健診問診項目～事故予防項目20の開発～ 厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）分担研究報告書 2007年3月
8. 鈴木 茜，竜岡久枝，松浦賢長，山縣然太朗 EPS 得点の分散と関連因子に関する研究 鹿児島報告書 2007年3月
9. 酒井佐枝子，加藤 寛 対人関係の持ち方および育儿サポートの認知が虐待傾向に及ぼす影響 心的ト ラウマ研究 2007年3号 47-55頁
4. 大学・研究所等の報告
1. 酒井佐枝子，加藤 寛，中井久夫 世代を超えて連鎖する家庭内の暴力・虐待の予防と介入に関する研究 兵庫県こころのケアセンター研究報告書 2007年 61-117頁
 2. 久我原朋子，松尾恵美子，大橋一友 つわりに対する食事の工夫と QOL との関連 大阪大学看護学雑誌 2007/3, 13(1), 1-7
5. 解説・総説
1. 永井利三郎 からだと心の相談室「3歳児熱のたびにひきつけ」毎日新聞 2007/04/01
 2. 永井利三郎 からだと心の相談室「4歳児 2歳ごろから吃音に」毎日新聞 2007/05/01
 3. 永井利三郎 発達障害の理解と対応 日本教育新聞 2007/07/01
 4. 永井利三郎，荒木田美香子，奥野裕子，高間さとみ 養護教諭が知っておくべき特別支援教育のすべて－特別支援が必要な子どもたちと、向き合うために－ 健康な子ども Vol. 1:p. 29-33 Vol. 1:p. 29-33 2008/01/01 日本学校保健研修社
 5. 永井利三郎 日本学校保健研修社児 毎日新聞 2007/10/01
 6. 荒木田美香子，永井利三郎，遠藤淑美，酒井佐枝子，奥野裕子 困難を抱えつつも母親のグループに勢い 健康な子ども p 4-5 2007/12
 7. 永井利三郎，阿曾洋子，荒木田美香子，伊藤美樹子，大塚敏子，奥野裕子，遠藤淑美，酒井佐枝子，高間さとみ，新家一輝，新田紀枝，藤原千恵子，横川しおぶ 子どもの心の発達に支援できる人材育成をめざす新しい学部教育の試み 脳 21 10 (3) , 25-31, 2007
 8. 永井利三郎 鼻血がよく出る3歳男児 每日新聞, 2007
 9. 永井利三郎 家族の中の子育て 保育と保健 13 : 33-35, 2007
 10. 沖永剛志，永井利三郎 【てんかん診療ABC】思春期から青年期発症のてんかん 小児科診療 70 : 111-117, 2007
 11. 新田紀枝，川端京子 看護における補完代替医療の現状と問題点－ホスピス・緩和ケア病棟に勤務する看護師の補完代替医療の習得と実施に関する調査から－ 日本補完代替医療学会誌, 4(1) : 23-31, 2007
6. その他 なし
- II著書
1. 一般著書
1. 小児の在宅生活支援のための医療的ケア・マニュアル改訂2版 永井利三郎，服部英司 大阪府医師会 2007年3月
2. 専門著書
1. International Symposium on Status Epilepticus in Infants and Young Children (ISSE). Basic Mechanisms, clinical evaluation, prognosis and treatment. Co-editted by Tosisaburo Nagai and Yukio Fukuyama, ISSE 2006/09/01
 2. 神経疾患を持つ小児に対する予防接種ガイドブック 栗屋 豊，伊予田邦昭，栗原まな，永井利三郎 診断と治療社 2007年12月
 3. 子どもの応急処置「こんなときどうする」(DVD) 永井利三郎 他 大阪小児科医会 2007年3月
 4. 永井利三郎 「多剤併用治療における新しい抗てんかん薬ガバペンの展望」ファイザー大阪座談会ファイザー株式会社 2007年11月
 5. スタンダード生理学 二宮石雄，安藤啓司，彼末一之，松川寛二編 大橋一友 第10章 生殖 2007年2月7日 p209-230
 6. 2008年出題基準別助産師国家試験問題 医学監修 大橋一友 編集 竹内美恵子 メディカ出版 2007年7月30日
 7. 2008年出題基準別助産師国家試験予想問題集 医学監修 大橋一友 編集 竹内美恵子 メディカ出版 2007年8月10日
3. 教科書
1. 氏家幸子監修，山中久美子，藤原千恵子，蝦名美智子 編集：母子看護学，小児看護学第2版，廣川

- 書店, 1-351, 2007. (『12. 感覚器障害』著)
2. 氏家幸子監修, 藤原千恵子, 山中久美子, 蝦名美智子 編集: 母子看護学, 母子看護技術Ⅱ 小児看護技術 第2版, 廣川書店, 1-258, 2007. (『12. 咳痰喀出』『13. 酸素療法』『17. 救急処置』著)
 3. 島田三恵子 新生児期に用いられる基本技術 青木康子, 加藤尚美, 平沢美恵子編 第3版第4刷 助産学体系第7巻 助産診断・技術学Ⅰ 10章 p. 205-235, 日本看護協会出版会 東京 2007年
 4. 島田三恵子 新生児の助産診断とケア 青木康子, 加藤尚美, 平沢美恵子編 第3版第4刷 助産学体系第9巻 助産診断・技術学Ⅲ 1章 p. 1-42, 日本看護協会出版会 東京 2007年

III 招聘講演・シンポジウム等

1. 国際学会

1. Tosisaburo Nagai. Immunization and its neurological hazards in children. CNS infection. 9th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology Convention. January 2007, Philippines.
2. Tosisaburo Nagai. Asian epilepsy registry study in Japan. Pediatric epilepsy collaborative study group in Asia. 9th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology Convention. January 2007, Philippines.

2. 国内学会

1. 永井利三郎 「学校生活を支える」シンポジウム「てんかんのリハビリテーション」日本てんかん学会 2007年11月, 大阪
2. 永井利三郎 「発達障害の子どものへの支援—医療、保健のとりくみー」第6回全国LD親の会公開フォーラム「スタートした特別支援教育の現状と課題」全国LD親の会 2007年6月, 大阪
3. 酒井佐枝子 子どものトラウマとそのケア 第59回 Quality of Life 研究会 2007年4月, 大阪

IV 学会一般演題

1. 国際学会 なし

2. 国内学会

1. 藤原千恵子, 宮野遊子, 絹巻宏, 日野利治, 藤田位, 山入高志, 寺田春郎, 永井利三郎 小児科医院の診察場面での乳幼児の啼泣と医療者・母親の乳幼児に対する援助の関係, 第17回日本外来小児科学年次集会(熊本市), 117, 2007.
2. 泉 美香, 藤原千恵子 小児看護学実践継続の意志に対する看護師の認識 日本小児看護学会第17回学術集会 2007年7月, 松本

3. 植田 仁, 今井克美, 沖永剛志, 下野九里子, 鈴木保宏, 鳥邊泰久, 松岡太郎, 田川哲三, 安倍治郎, 荒井 洋, 小野次朗, 永井利三郎 West症候群に対する短期隔日ACTH療法を取り入れた段階的治療の長期予後の検討 第49回日本小児神経学会総会 2007/06/01, 大阪
4. 富永康仁, 星野奈津子, 新谷 研, 下野九里子, 沖永剛志, 永井利三郎, 大蔵恵一 小児皮膚筋炎に対する低用量ステロイドとメソトレキセートの併用療法 第49回日本小児神経学会総会 2007/06/01, 大阪
5. 田辺卓也, 田川哲三, 荒井 洋, 今石秀則, 今北優子, 宇野理沙, 田中順子, 谷池雅子, 永井利三郎, 菊田玲子, 西田 勝, 粟屋 豊, 前川喜平 神経疾患をもつ児の保護者に対する予防接種アンケート 第49回日本小児神経学会総会 2007/6/1, 大阪
6. 沖永剛志, 神尾範子, 新谷 研, 星野奈津子, 富永康仁, 下野九里子, 大蔵恵一, 永井利三郎 幼児期発症の軸索型ギランバレー症候群の長期予後 第49回日本小児神経学会総会 2007/6/1, 大阪
7. 池田友美, 永井利三郎, 船戸正久, 安原昭博 大阪府の小児の在宅医療に関する実態調査 第49回日本小児神経学会総会 2007/6/1, 大阪
8. 下野九里子, 北井征宏, 新谷 研, 富永康仁, 星野奈津子, 沖永剛志, 永井利三郎, 大蔵恵一 脊髄小脳変性症に伴うてんかんの臨床像 下野九里子第41回日本てんかん学会 2007/9/1, 福岡
9. 伊予田邦昭, 粟屋 豊, 松石豊次郎, 永井利三郎, 田辺卓也, 栗原まな, 山本克哉, 前川喜平 てんかん接種基準案による前方視的アンケート調査(最終報告)－難治なけいれん発作をもつ小児に対する予防接種実施に関する多施設共同調査－ 第41回日本てんかん学会 2007/11/1, 福岡
10. 井上安奈, 新田幸代, 藤原彩子, 永井利三郎, 藤原千恵子 広汎性発達障害をもつ子どもの背景因子とその家族からみた家族機能との関連の検討 第55回日本小児保健学会 2007/9/1, 群馬
11. 沖永剛志, 下野九里子, 新谷 研, 富永康仁, 最上友紀子, 鳥邊泰久, 柳原恵子, 鈴木保宏, 永井利三郎, 大蔵恵一 小児期発症の難治性てんかんにおけるGabapentin治療の短期効果 第41回日本てんかん学会 2007/9/1, 福岡
12. 青天目 信, 平井聰里, 荒井 洋, 下野九里子, 沖永剛志, 永井利三郎, 大蔵恵一 バルプロ酸投与中にfanconi症候群をきたした重症心身障害児の3例 第41回日本てんかん学会 2007/9/1, 福岡
13. 沖永剛志, 下野九里子, 新谷 研, 富永康仁, 最上友紀

- 子, 鳥邊泰久, 柳原恵子, 鈴木保宏, 永井利三郎, 大蔵惠一 小児期発症の難治性てんかんにおける Gapentin 治療の短期効果 第 41 回日本てんかん学会 2007/9/1, 福岡
14. 永井利三郎 「呼吸の困難な子どもの在宅支援」 大阪府医師会「小児の在宅医療研修会」大阪府医師会 2007. 3, 大阪
15. 坂藤昌子, 富永信子, 新田紀枝, 阿曾洋子 入院時に退院支援が必要と判断された患者の特性ー退院支援スクリーニング票の分析からー 第 38 回日本看護学会ー看護管理ー 2007 年 10 月, 和歌山市
16. 高田一美, 石見和世, 文字智子, 高城美圭, 高城智圭, 河上智香, 藤原千恵子 看護師による子どもへの病気説明の実践状況, 第38回日本看護学会抄録集ー小児看護ー(つくば市), 148, 2007年
17. 高城美圭, 高城智圭, 文字智子, 高田一美, 石見和世, 河上智香, 藤原千恵子 属性別に見た看護師の子どもへの病気説明の認識と実践 日本小児看護学会第 17 回学術集会 2007 年 7 月, 松本
18. 酒井佐枝子, 加藤 寛 養育者の自己効力感と虐待傾向との関連 日本トラウマティック・ストレス学会第 6 回大会 2007 年 3 月, 東京
19. 酒井佐枝子, 山野則子 ノーバディーズ・パーエクトプログラムの効果測定～茨木市でのとりくみ～日本子ども虐待防止学会第 13 回学術集会みえ大会 2007 年 12 月, 三重
20. 安藤布紀子, 大橋一友 妊娠中に発症する腰痛と骨盤痛が妊娠中の日常生活の活動に及ぼす影響 日本助産学会 2007 年 3 月, 別府
21. 鈴井江三子, 大橋一友 妊婦身体感覚尺度の信頼性・妥当性の検討 日本助産学会 2007 年 3 月, 別府
22. 久我原朋子, 大橋一友 唾液検査による歯周疾患ハイリスク妊婦のスクリーニング 日本助産学会 2007 年 3 月, 別府
23. 矢野恵子, 大橋一友, 八木橋香津代, 塩沢直美, 此花愛子 不妊医療における多職種連携に求められる条件と期待される看護の役割 日本不妊カウンセリング学会 2007 年 6 月, 東京
24. 新川治子, 島田三恵子, 早瀬麻子, 乾つぶら 妊娠初期の睡眠パターンと眠気. 日本睡眠学会第 32 学術集会 2007 年 11 月 9 日, 東京
25. 新家一輝, 藤原千恵子 小児の入院と母親の付き添いが同胞に及ぼす影響ー同胞の否定的変化と肯定的変化との関係ー, 第38回日本看護学会抄録集ー小児看護ー, 19, 2007.
26. 池田友美, 永井利三郎, 毛利育子, 加藤久美, 谷池雅子 重症心身障害児の睡眠障害と介護負担感に関するアンケート調査 第 55 回日本小児保健学会 2007/9/1, 群馬
27. 藤原彩子, 永井利三郎 「小学生のインフルエンザ罹患と予防に関するアンケート調査」第 51 回大阪小児てんかん研究会 2007 年 4 月, 大阪
28. 横川しのぶ, 永井利三郎 在宅人口換気を行っている児の母親の保育所通所を通しての思い～障害児が地域社会で個性を輝かせて生きていくために～ 第 54 回日本小児保健学会 2007/9/1, 群馬
29. 新田幸代, 井上安奈, 藤原彩子, 永井利三郎, 藤原千恵子 乳幼児の事故に関する研究ー1歳 7 ヶ月検診を通じて 第 60 回日本小児保健学 2007/9/1, 群馬
30. 藤原彩子, 永井利三郎, 井上安奈, 新田幸代 小学生のインフルエンザに対するインフルエンザワクチンの効果 第 54 回日本小児保健学会 2007/9/1, 群馬
31. 早瀬麻子, 島田三恵子, 乾つぶら, 新川治子 産後の母親と乳児との睡眠覚醒リズムの関連 日本睡眠学会第 32 回学術集会 2007 年 11 月 9 日, 東京
32. 乾つぶら, 島田三恵子, 早瀬麻子, 新川治子 妊娠末期から産後 4 か月までの睡眠の質の変化 日本睡眠学会第 32 回学術集会 2007 年 11 月 9 日, 東京
33. 村田絵美, 藤原千恵子 入院生活における幼児後期の子どもの遊び体験に対する親の認識, 第 54 回日本小児保健学会講演集(前橋市), 119, 2007.
34. 武内紗千, 宮野遊子, 藤原千恵子 小児科外来における看護師および母親の子どもに対する援助に影響する要因, 第38回日本看護学会抄録集ー小児看護ー(つくば市), 171, 2007.
35. 北尾美香, 河上智香, 藤原千恵子 小児看護学実習が育児体験ストレスに与える影響の主観的・客観的判定, 第38回日本看護学会抄録集ー小児看護ー(つくば市), 114, 2007.
36. 岩本桜利子, 永井利三郎 A市の保育所に通う障害児の通園状況に関する保護者へのアンケート調査題56回日本小児保健学会 2007/9/1, 群馬
37. 加島佐香, 永井利三郎 障害児保育の受け入れに関する調査～A市の保育園園長へのアンケートから～ 第57回日本小児保健学会 2007/9/1, 群馬
38. 阪上健太朗, 永井利三郎 大阪府の障害児保育の現状 第58回日本小児保健学会 2007/9/1, 群馬
39. 北野あい子, 永井利三郎 障害児教育担当教員に対する音楽教育についてのアンケート調査～音楽療法に関する意識及び音楽療法に関する文献調査

- ～ 第59回日本小児保健学会 2007/9/1, 群馬
40. 江川早紀, 永井利三郎 大阪府の養護学校における医療的ケアの実施状況～看護師へのアンケート調査～ 第61回日本小児保健学会 2007/9/1, 群馬
41. 増山結花, 中嶋有加里, 山口雅子, 大橋一友 医療分野における妊婦のシートベルト着用に関する海外文献の動向 大阪母性衛生学会 2007年2月, 大阪

V 受賞 なし

VI 特許 なし

VII 共同研究・外部資金

1. 平成19年度科学研究費補助金 基盤研究B 妊娠中から産褥期の母親の生活リズム等が母子の健康に及ぼす影響に関する研究 島田三恵子（代表） 鮫島道和, 保智己, 新田紀枝, 大橋一友
2. 平成19年度科学研究費補助金 萌芽研究 つわり症状のある妊婦へのつぼ刺激の有効性 安田孝子（代表）, 島田三恵子, 大見サキエ, 鵜あさみ, 矢野忠, 笹岡知子
3. 平成19年度科学研究費補助金（基盤研究C）母子健康手帳と尿中コチニン検査を用いた妊婦能動・受動喫煙対策に関する広域調査 大橋一友（代表）, 炭原加代
4. 平成19年度8020研究事業（公募研究課題番号2）自立高齢者の口腔ケアの介入とWHO/QOLへの貢献－3年間の追跡調査から後期高齢者への対応を求めて－ 藤本篤士, 武井典子, 大橋一友, 岩久正明, 竹中彰治, 奥瀬敏之
5. 平成19年度財団法人フランスペッド・メディカルホームケア研究・助成財団研究助成金 利用者による在宅サービスの評価とサービス利用に影響を及ぼす要因 新田紀枝（代表）, 児浦博子, 松邨淳代, 尾崎秀子, 村上真弓, 武村厚子, 橋本央子
6. 平成19年度科学研究費補助金（基盤研究C）妊婦と胎児の命を守る自動車利用教育プログラム作成に向けての基礎的研究－シートベルト着用法・妊婦用補助具および乗車姿勢の検討－ 中嶋有加里（代表）, 山口雅子, 大橋一友
7. 平成19年度科学研究費補助金（萌芽研究）中高年男性のパタニティブルーズとうつ病発症との関連に関する研究 西村明子（代表）, 大橋一友, 石藏文信

VIII 主催学会

1. 大橋一友 第56回QOL研究会 大阪大学中之島センター 平成19年4月21日

IX その他（講演会など）

1. 永井利三郎 「染色体異常を持つ子どもの学校生活上の課題とその対応」 医療的ケア研修会 箕面養護学校 2007年12月, 大阪
2. 永井利三郎 「新しい抗てんかん薬と小児てんかん」 トピナ錠発売記念講演会 協和発酵工業株式会社 2007年12月, 大阪
3. 永井利三郎 「医療的ケアの基本認識」教職員としてどう考えるか 箕面市第3中学校 校内研修会 箕面市第3中学校 2007年11月, 大阪
4. 永井利三郎 「予防注射の副反応の現状と今後の課題」伊丹市医師会学術講演会 伊丹市医師会 2007年8月, 大阪
5. 永井利三郎 「肢体不自由児の医学的基礎理解について」平成19年度肢体不自由教育研修、盲・聾・養護学校新任教員研修、新任養護学級・新任通級指導担当教員研修 大阪府教育センター 2007年8月, 大阪
6. 永井利三郎 「特別支援教育と連携」第7回オープンセミナー「これからの特別支援教育」～連携！医療と保健室～ 関西特別教育ネットワーク 2007年7月, 大阪
7. 永井利三郎 「学校で支援が必要な子どもたちへの理解とその対応」平成19年度箕面市学校保健会総会・講演会 箕面市学校保健会 2007年7月, 大阪
8. 永井利三郎 「発達障害への理解」豊中市障害児保育保護者講演会 豊中市子ども未来部 2007年6月, 大阪
9. 永井利三郎 「発達障害の理解と対応」子どもの「こころ」と「からだ」の健康フォーラム－子どもの「こころ」と「からだ」 ファイザー 2007年6月, 大阪
10. 永井利三郎 「医療的ケアの必要な慢性疾患児の在宅医療を地域で支えるために」慢性疾患児の在宅医療を推進するための研修会 豊中市医師会 2007年2月, 大阪
11. 酒井佐枝子 日本における児童虐待防止への取り組みの現状 国際看護交流協会平成19年度アフリカ母子保健看護管理コース研修 2007年10月, 大阪

総合ヘルスプロモーション科学講座

I 論文

1. 学術論文

1. Moon JS, Mikami H Difference in subjective well-being between ethnic Korean and Japanese elderly residents in an urban community in Japan. *Geriatrics and Gerontology International.* 7(4): 371-379, 2007
2. Akiyama A, Numata K, Mikami H Factors enabling home death of the elderly in an institution specializing in home medical care -Analysis of apprehension of the bereaved family- *Geriatrics and Gerontology International* (in press)
3. Okada, S., Ohno Y. New Approach for the Time Motion Analysis of Medical Staff in a Ward by Video Image Processing, SICE supple, 2750-2753, 2007.
4. Ito, Y., Ohno Y., Rachet, B., Coleman, M. P., Tsukuma, H., Ohshima, A. Cancer Survival Trends In Osaka, Japan :the Influence of Age and Stage at Diagnosis, *Jpn. J. Clin. Oncol.*, 37, 452-458, 2007.
5. Yamashita M., Arakida M. Reliability and validity of the Japanese version of Stanford presenteeism scale on female employees in 2 Japanese enterprises. *Journal of Occupational Health.* 2007. (in press)
6. 井上智子, 坂藤昌子, 東村昌代, 福岡富子, 阿曾洋子, 葉山有香 特定機能病院における在宅療養支援病院, 66 (3) :235-239, 2007
7. 大野ゆう子, 清水佐知子, 笠原聰子 中医学の保健看護領域学部教育に及び大学院教育への導入の試み, 大阪大学看護学雑誌, 13 (1) :19-24, 2007
8. 大野ゆう子, 清水佐知子 病棟での個体情報管理とICタグ, 情報処理, 48 (4) :344-348, 2007
9. 和泉京子, 阿曾洋子, 山本美輪, 福島俊也 「軽度要介護認定」高齢者のうつに関連する要因 老年社会学 28 (4) : 476~486, 2007
10. 三上 洋, 森 雅樹, 片山裕子, 西山 円 プランルカスト DS10%「アメル」の生物学的同等性試験. 新薬と臨床 56 (9) : 1524-1534, 2007
11. 三上 洋, 片山裕子, 西山 円 リスペリドン錠 1mg 「アメル」およびリスペリドン細粒 1%「アメル」の生物学的同等性試験. 新薬と臨床 56 (7) : 986-1005, 2007
12. 三上 洋, 石川研介, 辻 文人, 吉岡隆之, 山本 章 小腸コレステロールトランスポーター阻害剤 Ezetimibe とピタバスタチンとの薬物相互作用検討試験. 臨床医薬 23 (6) : 437-450, 2007
13. 三上 洋, 石川研介, 辻 文人, 吉岡隆之, 山本 章 小腸コレステロールトランスポーター阻害剤 Ezetimibe の薬物動態試験 高齢者及び非高齢者における薬物動態の検討. 臨床医薬 23 (6) : 427-435, 2007
14. 三上 洋, 石川研介, 辻 文人, 吉岡隆之, 山本 章 小腸コレステロールトランスポーター阻害剤 Ezetimibe の薬物動態試験 バイオアベイラビリティに及ぼす食事の影響の検討. 臨床医薬 23 (6) : 417-425, 2007
15. 秋山明子, 沼田久美子, 三上 洋 在宅医療専門機関における在宅での高齢者の看取りを実現する要因に関する研究—療養者の遺族を対象とした調査による検討— 日本老年医学会雑誌 44 (6) :740 -746, 2007
16. 岡田加奈子, 葛西淳子, 荒木田美香子他 養護診断『心理的な要因が存在する可能性のある状態』の診断名と診断指標の開発. 日本養護教諭教育学会誌. 10 (1) : 1-18, 2007
17. 杉浦圭子, 伊藤美樹子, 三上 洋 家族介護者における在宅認知症高齢者の問題行動由来の介護負担の特性 日本老年医学会雑誌 44 (6) :717 -725, 2007
18. 林真由美, 荒木田美香子, 大橋一友 知的障害を持つ成人男性の性ニーズと性知識に関する調査 発達障害研究 (in press)
19. 石澤美保子, 阿曾洋子, 橋田愛子, 濱元佳江, 伊部亜希, 囲みゆき, 小川雅昭 仙骨部褥瘡の皮膚バリア機能およびドレッシングとの関連についての検証 日本褥瘡学会誌 9 (4) :521-527, 2007
20. 囲みゆき, 阿曾洋子, 伊部亜希, 徳重あつ子, 片山恵, 高田幸恵 ADL の維持と褥瘡予防を両立させるための体圧分散マットレスの評価 -マットレス上で起き上がり動作時の沈み込み, 筋活動量, 動きやすさの観点から - 日本褥瘡学会誌 9 (1) :81 - 86, 2007
21. 囲みゆき, 阿曾洋子, 伊部亜希, 徳重あつ子, 片山恵, 高田幸恵, 前田知穂 体圧分散マットレスの安楽性と安全性の評価 -寝心地と端坐位保持中の身体安定性 - 看護人間工学研究誌 7:29-35, 2007
22. 西森理恵, 荒木田美香子, 白井文恵 介護者の腰痛予防への取り組みと腰痛に対する問題意識—施設管理者へのインタビューを通して— 日本地域看護学会誌. 9 (2) :68-74, 2007
23. 笠島亜理沙, 荒木田美香子, 白井文恵 食育における養護教諭と学校栄養職員の連携状況とその推進要因の検討 学校保健研究. 48 (6) :521-533, 2007

2. 会議録

1. Arima S, Mikami H Long-term effects of a tobacco education program in baccalaureate nursing programs in Japan 8th Asia Pacific conference on Tobacco or Health Abstracts, 119, 2007
2. Okada S, Ohno Y. New Approach for Medical Ward Monitoring Method by Difference Image Processing, The international Conference on Kansei Engineering and Emotion Research 2007, KEER2007Abstract (CD), Fukuoka, Japan, 2007.
3. Tabata N, Ohno Y, Murakami A, Furushima D, Ito Y. Follow-up time required for cure of cancer patients using mixture cure models In Osaka Japan, 29th Annual Meeting of the International Association of Cancer Registries Programme and Book of Abstracts, 139, 2007.
4. Murakami A, Ohno Y, Tabata N, Shimizu S. The Estimation of the Cure Probability by Markov Model, 29th Annual Meeting of the International Association of Cancer Registries Programme and Book of Abstracts, 107, 2007.
5. Mochimaru Y, Ohno Y, Numasaki H, Teshima T, Ito Y, Tsukuma H. Trend of introduction of radiation therapy for breast cancer treatment in Osaka Japan -based on data from Osaka cancer Registry-, The 15th anniversary of Hiroshima Cancer Seminar Foundation The 17th International symposium, 42, 2007.
6. 葉山有香, 根来佐由美, 和田恵美子, 坂本雅代, 井上智子 季節の違いによる成人女性の皮膚角層水分量の変化と保湿ケアの必要性 日本看護研究学会雑誌, 30(3), 206, 2007年
7. 岸井さやか, 伊吹美保, 葉山有香, 根来佐由美, 井上智子 石鹼清拭により生じる皮膚の乾燥度の違いと生活習慣との関係 第38回日本看護学会抄録集(看護総合), 7, 299, 2007年
8. 伊吹美保, 岸井さやか, 葉山有香, 根来佐由美, 井上智子 石鹼清拭後の保湿剤の効果的な方法の一考察 -皮表角層水分量を指標として- 第38回日本看護学会抄録集(看護総合), 7, 300, 2007年
9. 根来佐由美, 葉山有香, 和田恵美子, 坂本雅代, 井上智子 運動後のシャワーの使用と水泳が皮膚PHへ及ぼす影響 日本看護研究学会雑誌, 30(3), 206, 2007年
10. 文鐘聲, 三上洋, 和田泰三, 石根昌幸, 奥宮清人, 松林公藏 在日コリアン・日本人・韓国在住韓国人高齢者におけるCGAによる比較研究 日本老年医学会雑誌 44巻 臨時増刊号 90頁, 2007年
11. 秋山明子, 三上洋 在宅死に影響する要因に関する検討(第一報) 在宅死亡率 80%の在宅医療専門機関を対象とする調査より. 日本老年医学会雑誌、日本老年医学会雑誌 44巻 臨時増刊号 98頁, 2007年
12. 堤梨恵, 上田美代子, 荒木田美香子他. 近畿圏で働く産業看護職の蓄積重疲労度とストレス状況の実態(第1報). 産業衛生学雑誌 49(2): 70, 2007年
13. 杉浦圭子, 伊藤美樹子, 九津見雅美, 三上洋 介護保険利用下の介護者における就労継続に関わる要因の縦断的検討. 日本公衆衛生雑誌 第66回学会抄録集 510頁, 2007年
14. 山北順子, 九津見雅美, 杉浦圭子, 伊藤美樹子, 三上洋 介護保険サービス利用者における閉じこもりの発生頻度とその特徴. 日本公衆衛生雑誌 第66回学会抄録集 128頁, 2007年
15. 山北順子, 九津見雅美, 杉浦圭子, 伊藤美樹子, 三上洋 介護保険サービス利用者における閉じこもりの発生頻度とその特徴. 日本老年医学会雑誌 44巻 臨時増刊号 128頁, 2007年
16. 矢野祐美子 いきいきと働く中堅看護師のエンパワーメント体験の分析 第11回日本看護管理学会年次大会講演抄録集, 8, 177, 2007年
17. 小塩篤史, 清水佐知子, 長谷川敏彦 病院顧客満足度調査研究 3年間の総括, 日本医療マネジメント学会雑誌, 8(1):259, 2007年
18. 清水佐知子, 長谷川敏彦 臨床指標ベンチマーク手法の検討, 日本医療マネジメント学会雑誌 8(1):259, 2007年
19. 山口さおり, 清水佐知子, 長谷川敏彦 顧客満足度調査としての職員満足度調査インストロメンツの開発と応用, 日本医療マネジメント学会雑誌, 8(1):259, 2007年
20. 杉田塩, 清水佐知子, 長谷川敏彦 医療連携施設満足度調査の開発, 日本医療マネジメント学会雑誌, 8(1):258, 2007年
21. 矢山壮, 吹本小百合, 有馬志津子, 三上洋 大学祭における禁煙サポートの実施から見えた大学生の禁煙に対する意識の実態 第1報 第66回日本公衆衛生学会総会抄録集, 281頁, 2007年
22. 吹本小百合, 矢山壮, 有馬志津子, 三上洋 大学祭における禁煙サポートの実施から見えた大学生の禁煙に対する意識 第2報 第66回日本公衆衛生学会総会抄録集, 281頁, 2007年
23. 矢山壮, 前田冴子, 谷川緑, 有馬志津子, 三上洋, 嶺岸秀子, 田中彰子, 千崎美登子, 大石八重子, 萩原修代 病院看護師による禁煙支援に関する要

- 因の検討 第3報 病院看護師による禁煙支援に関する共分散構造分析 第27回日本看護科学学会 学術集会講演集, 173頁, 2007年
24. 溝越あゆみ, 安平真理子, 有馬志津子, 三上 洋 中学生への喫煙防止教育実施と評価 第1報 教育の実施と内容・方法への生徒からの評価 第66回日本公衆衛生学会総会抄録集, 280頁, 2007年
25. 安平真理子, 溝越あゆみ, 有馬志津子, 三上 洋 中学生への喫煙防止教育実施と評価 第5報 比較研究デザインによる教育効果の検証 第66回日本公衆衛生学会総会抄録集, 280頁, 2007年
26. 有馬志津子, 前田冴子, 矢山 壮, 三上 洋 病院看護師による禁煙支援に関連する要因-学部生へのたばこ教育プログラムとの関連- 第66回日本公衆衛生学会総会抄録集, 284頁, 2007年
27. 領岸秀子, 千崎美登子, 松原康美, 田中彰子, 稲吉光子, 有馬志津子, 三上 洋 记化ステージ理論に基づく禁煙支援を受講した病院看護師の知識と活用の変化-パイロットスタディ 第21回日本がん看護学会 学術集会講演集, 169頁, 2007年
28. 前田冴子, 矢山 壮, 谷川 緑, 有馬志津子, 三上 洋, 領岸秀子, 田中彰子, 千崎美登子, 大石八重子, 萩原修代 病院看護師による禁煙支援に関する要因の検討 第1報 禁煙支援や禁煙支援方法に関する学習経験の現状 第27回日本看護科学学会 学術集会講演集, 172頁, 2007年
29. 有馬志津子, 三上 洋, 矢山 壮, 前田冴子, 谷川 緑, 領岸秀子, 田中彰子, 千崎美登子, 大石八重子, 萩原修代 病院看護師による禁煙支援に関する要因の検討 第2報 禁煙支援の病院間格差に関するマルチレベル分析 第27回日本看護科学学会 学術集会講演集, 173頁, 2007年
30. 田端奈々, 大野ゆう子, 伊藤ゆり, 早田みどり Period法による長崎県がん登録資料を用いた5年有病数推計, 日本公衆衛生雑誌, 54, 240, 2007年
31. 持丸祐子, 大野ゆう子, 田端奈々, 伊藤ゆり, 井岡亜希子 乳がん治療における放射線治療導入の状況～大阪府がん登録に基づく分析～, 日本公衆衛生雑誌, 54, 239-240, 2007年
32. 箕井杏奈, 大野ゆう子, 田端奈々, 清水佐知子, 伊藤ゆり, 井岡亜希子 大阪府における小児がん受療に関する罹患の地域差の現状把握, 日本公衆衛生雑誌, 54, 240, 2007年
33. 志岐直美, 大野ゆう子, 田端奈々, 清水佐知子, 伊藤ゆり, 井岡亜希子 大阪府における子宮がん患者の地域別生存率と患者動向に関する研究, 日本公衆衛生雑誌, 54, 240, 2007年
34. 立浩祥, 杉田義郎, 菊池大晴, 熊ノ郷卓之, 石井康喜, 山下未来, 荒木田美香子, 守山敏樹 Presenteeismの概念を用いた大学新入生の精神・身体的健康度の予備的実態調査研究 CAMPUS HEALTH, 44 (3) : 82, 2007
35. 中谷安寿, 山北順子, 杉浦圭子, 九津見雅美, 伊藤美樹子, 三上 洋 介護保険制度改正に伴い新しく要支援2に認定されたことによる困難に関する実態調査 日本公衆衛生雑誌 第66回学会抄録集 498頁, 2007年
36. 森上和恵, 松浦治代, 三上 洋 鳥取県西部地震被災高齢者の生活力量に関する研究 被災3年後独居高齢者の生活から. 日本公衆衛生雑誌第66回学会抄録集 333頁, 2007年
37. 中谷安寿, 山北順子, 九津見雅美, 杉浦圭子, 三上 洋 介護保険改正にともなう介護予防通所系サービスの選択的サービス利用状況. 日本老年医学会雑誌 44巻 臨時増刊号 98頁, 2007年
- ### 3. 研究報告
1. 阿曾洋子, 井上多鶴子, 塚田邦夫, 矢口美恵子, 伊藤美智子, 岡本泰岳, 真田弘美, 竹田和博, 沼田美幸, 大浦武彦 訪問看護ステーションにおける褥瘡患者の実態-在宅医療委員会実態報告1-, 日本褥瘡学会誌, 9 (1) : 103-108, 2007
 2. 三上 洋, 伊藤美樹子, 杉浦圭子, 山北順子, 中谷安寿 東大阪市居宅介護サービスの利用に関するアンケート調査報告書 平成19年3月
 3. 三上 洋, 伊藤美樹子, 杉浦圭子, 九津見雅美 東大阪市居宅介護サービス利用者3年縦断アンケート調査報告書 平成19年3月
 4. 荒木田美香子 生活習慣病予防における効果的な保健指導技術に関する研究. 平成18年度厚生労働科学研究特別研究. 総括研究報告書 (主任研究者金川克子) 115-122頁, 2007年
 5. 荒木田美香子 (代表), 河野啓子, 由田克士他 職域保健における効果的な保健指導事例に関する検討会報告書 平成18年度地域保健総合推進事業 日本公衆衛生協会 2007年
 6. 吉田勝美, 荒木田美香子, 津下一代他 平成19年 地域・職域連携推進事業ガイドライン検討会報告書 厚生労働省
 7. 宮嶋正子, 阿曾洋子, 井上多鶴子, 塚田邦夫, 矢口美恵子, 伊藤美智子, 岡本泰岳, 真田弘美, 竹田和博, 沼田美幸, 大浦武彦 訪問看護ステーションに

における褥瘡患者の実態－在宅医療委員会実態報告 2
－ 日本褥瘡学会誌 9(4) : 546-553, 2007

4. 大学・研究所等の報告

1. 大野ゆう子 がん専門病院における病棟機能の年間稼働能力の変化と患者相談業務、統計数理研究所共同研究リポート 202:13-20, 2007
2. 現代 GP ワーキングメンバー(阿曾洋子, 久米弥寿子, 荒木田美香子, 伊藤美樹子, 尾ノ井美由紀, 藤原千恵子, 永井利三郎, 新田紀枝, 遠藤淑美, 他) 大阪大学現代教育ニーズ取り組み支援プログラム 「親と子の心を支援できる人材育成教育の構築」 平成 18 年度報告書 2007. 3
3. 和泉京子, 阿曾洋子, 津村智恵子, 上野昌江, 山本美輪 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)要介護認定における要支援及び要介護 1 の要介護度の推移の状況とその要因からみた介護予防プログラムの開発に関する研究(H17-長寿-024) 平成 18 年度総括研究報告書(主任研究者:和泉京子), 2007
4. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書: 要介護度の推移の状況とその要因からみた介護予防対策に関する研究—1 年後の要介護認定結果から一, 86 頁, 2007
5. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
6. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—池田市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
7. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—泉佐野市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
8. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—茨木市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
9. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—大阪狭山市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
10. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—貝塚市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
11. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—門真市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
12. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—河南市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
13. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—河内長野市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
14. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—泉南市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
15. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—太子町における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
16. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—高石市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
17. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—田尻町における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
18. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—千早赤阪村における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
19. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—豊中市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
20. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—豊能町における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
21. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—羽曳野市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
22. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—阪南市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
23. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—岬市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
24. 和泉京子, 阿曾洋子 要介護認定「要支援」・「要介護 1」認定者への調査報告書—箕面市における平成 18 年度 2 年後の要介護度調査の概要- 50 頁 2007
25. 清水佐知子 タイムスタディに基づく業務運営アセスメントについてのレビュー, 統計数理研究所共同研究リポート 202:5-12, 2007
26. 徳重あつ子, 阿曾洋子, 伊部亜希, 岡みゆき, 片山恵, 宮嶋正子, 木下慈子 健康高齢者における大脳と自律神経活動からみた坐位姿勢の有効性の検証 平成 18 年度(第 17 回)研究助成・事業助成報告書, 財団法人フランスペッド・メディカルホームケア研究・助成財団, 161-201, 2007

27. 筒井杏奈, 大野ゆう子, 伊藤ゆり, 清水佐知子, 田端奈々, 越野八重美 小児がん医療需給の地域公平性に関する研究, 統計数理研究所共同研究リポート 202:21-34, 2007
28. 志岐直美, 大野ゆう子, 伊藤ゆり, 田端奈々, 古島大資, 清水佐知子 子宮がん治療における患者-受診医療施設及び提供医療レベルの地域間検討, 統計数理研究所共同研究リポート 202:35-50, 2007
5. 解説・総説
1. 阿曾洋子, 矢野祐美子, 宮嶋正子, 石澤美保子 褥瘡予防の看護研究 医学書院 40(6) : 7-18, 2007
 2. 三上 洋 【医薬品副作用学】 副作用総論 特殊例への対応 高齢者 日本臨牀 65(増刊 8) : 42-47, 2007
 3. 三上 洋 肥満高血圧と交感神経 血圧 14(6) : 590-591, 2007
 4. 三上 洋 睡眠時血圧と QOL 血圧 14(6) : 596-597, 2007
 5. 三上 洋 労働ストレスと高血圧 血圧 14(7) : 684-685, 2007
 6. 三上 洋 コエンザイム Q10 の降圧効果 血圧 14(8) : 760-761, 2007
 7. 早川和生 予防看護学研究の現在; 北欧における進展を例に、看護研究、40(6) : 3-6, 2007.
 8. 早川和生, 菊池宏幸, 尾ノ井美由紀, 林 知里, 西原玲子 双子老人 2,500 組の追跡健康調査からみた知的能力の老化に関するライフスタイル要因の研究、大和証券ヘルス財団研究助成報告書第 30 集、106-115, 2007.
 9. 早川和生 予防看護学の進展、看護研究、40(6) : 2, 2007
 10. 荒木田美香子, 森田理江, 奥山絢子, 太栗里香, 竹内 恵 特定保健指導の質の評価方法に関する提案、月刊地域保健、38(12) (in press), 2007
 11. 荒木田美香子, 森田理江, 大塚敏子 標準的な健診・保健指導プログラムをどう生かす -大切なのはエビデンスの蓄積、月刊地域保健、38(6) : 36-43, 2007
 12. 永井利三郎, 荒木田美香子, 伊藤美樹子 他 子どものこころのひずみの科学的分析 子どもの心の発達に支援できる人材育成をめざす新しい学部教育の試み、脳 21. 10(23) : 237-43, 2007
 13. 荒木田美香子, 永井利三郎, 奥野裕子, 遠藤淑美, 酒井佐枝子 欧米の軽度発達障害児支援視察リポート I. 健康なこども、419, 4-5, 2007
 14. 荒木田美香子, 永井利三郎, 奥野裕子, 遠藤淑美, 酒井佐枝子 欧米の軽度発達障害児支援視察リポート II. 健康なこども、420, 4-5, 2007
 15. 荒木田美香子, 永井利三郎, 奥野裕子, 遠藤淑美, 酒井佐枝子 欧米の軽度発達障害児支援視察リポート III. 健康なこども、421, 4-5, 2007
 16. 荒木田美香子, 永井利三郎, 奥野裕子, 遠藤淑美, 酒井佐枝子 欧米の軽度発達障害児支援視察リポート IV. 健康なこども、422, 4-5, 2007
 17. 荒木田美香子, 永井利三郎, 奥野裕子, 遠藤淑美, 酒井佐枝子 欧米の軽度発達障害児支援視察リポート V. 健康なこども、423, 4-5, 2007
6. その他
1. 早川和生 テレビ出演: NHK教育テレビ「サイエンス Z E R O : ふたご研究の最前線: 遺伝と環境の秘密」 2007
 2. 早川和生 テレビ出演: モバイルNHK, 「ふたご研究」 2007
 3. 荒木田美香子 月刊地域保健、Web サイトコラム 「保健師のビタミン」連載、産業保健の世界、2007 年 11 月 14 日 ~ 2008 年 1 月 23 日 <http://www.chiikihoken.net/>
 4. 矢野祐美子 編入学合格を目指して 全国助産師・保健師学校入試問題集 2007 年 11 月 8-10 頁
- II 著書
1. 一般著書
1. 早川和生 保健師国家試験問題解説 2008 メディックメディア 2007
 2. 荒木田美香子 (共著), 星 旦二監修 保健師国家試験問題 2008 年 メディカ出版 2007
 3. 荒木田美香子 (共著), 星 旦二監修 2008 年保健師国家試験予想問題集 メディカ出版 2007
 4. 有馬志津子 地域看護学 III ~ IV 星 旦二編 2008 年出題基準別保健師国家試験問題 メディカ出版, 2007
2. 専門著書
1. 早川和生 第 13 章・論文構成とまとめ方 in 小笠原知枝, 松木光子編 これからの看護研究 基礎と応用 ヌーヴェルヒロカワ 2007
 2. 早川和生 「脱毛」・「白髪化」 一卵性双生児にみられる変化 in 「いのち・ひと・夢; みんなで考える医学と医療」 Newton 社 2007
 3. 金川克子, 早川和生監訳 コミュニティー・アズ・パートナー: 地域看護学の理論と実際 (第 2 版) 医学書院 2007
 4. 荒木田美香子 性教育, 初経, 二次性徴, 性感染症,

保健室登校、精通現象 日本小児看護学会監修。
小児看護学事典。2007

3. 教科書

1. 荒木田美香子 学校保健／看護、産業保健／看護。(福島道子編 地域看護学 2) オーム社 東京 2007.

III 招聘講演・シンポジウム等

1. 国際学会 なし

2. 国内学会

1. 荒木田美香子 産業看護活動における労働者の健康情報の保護 教育講演 近畿産業保健学会 2007年11月、京都市
2. 荒木田美香子、衛藤 隆 第54回日本学校保健学会シンポジウム：ヘルシースクールー世界の潮流一座長 2007年9月、市川市
3. 宮嶋正子、阿曾洋子、井上多鶴子、塙田邦夫、矢口美恵子、伊藤美智子、岡本泰岳、真田弘美、竹田和博、沼田美幸、大浦武彦 ランチョンセミナー 訪問看護ステーションにおける褥瘡患者の実態 第9回日本褥瘡学会学術集会 2007年9月、群馬

IV 学会一般演題

1. 国際学会

1. Kyoko Izumi, Aso Y Physical, Psychological and Social Factors Associated with the Degree of Assistance Required during Daily Life by Frail Elderly Individuals in Japan: A 12-Month Follow-up Study, ICN's International Conference , 2007, May-June, Yokohama
2. Kyoko Izumi, Aso Y Factors related to the homebound of frail elderly people in Japan : Study with 12 month follow-up 8th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology and Geriatrics, 2007, October, Beijing
3. Kyoko Izumi, Aso Y, Yamamoto M Factors related to care level after 1 year for infirm elderly individuals in Long-term Care Insurance in Japan, according to the type of family structure The 1st KOREA-JAPAN Joint Conference on Community Health Nursing, 2007, November, Korea
4. Kusano E., Ono M., Hayakawa K Characteristics of Mothers who Participated in Parenting Support Activities Provided by Elderly People, The First Korea & Japan Joint Conference on Community Health Nursing, Seoul, 2007.
5. Hayashi C, Hayakawa K, Onoi M, Nishihara R, Amou Y Relationship Between Twin Language, Twin's Bond and

Social Competence. The 12th International Congress on Twin Studies, Ghent, 2007

6. Arakida M, Moon-Hee Jung, Satoka Oawa, Toshiko Otsuka, Miku Yamashita Examination of current state of presenteeism in Japanese workers in 5 companies. 18th Japan-China-Korea Joint Conference on Occupational Health. May, 2007. Nagoya City.
7. Arakida M, Miku Yamashita, Toshiko Otsuka, Moon-Hee Jung Examination of current state for presenteeism in Japanese workers in 5 companies. 第1回日韓地域看護学会共同学術集会. 2007. Seoul.
8. Arima S, Mikami H Long-term effects of a tobacco education program in baccalaureate nursing programs in Japan 8th Asia Pacific conference on Tobacco or Health. Taipei, Taiwan, 2007
9. Nishihara R, Hattori R, Kobayashi Y, Hayakawa K Family Environment, Parenting Anxiety and Childhood Development of Twins as Compared to Singletons. 12th International Congress on Twin Studies, Ghent, 2007
10. Miwa Yamamoto, Kyoko Izumi, Aso Y Ethical dilemmas facing Japanese Female nurses regarding the care of elderly patients, ICN conference and CNR, 2007, May-June, Yokohama
11. Miwa Yamamoto, Chiyuki Ryugo, Aso Y THE EFFECTS OF ETHICAL DILEMMAS REGARDING THE USE OF PHYSICAL RESTRAINTS IN ELDERCARE ON FEMALE NURSES WHO CARE FOR THEIR RELATIVES, 8th International family nursing conference, 2007, December, Thailand
12. Miwa Yamamoto, Aso Y Coping with dilemma as among female nurses caring For patients with dementia, International Psycho geriatric association 25th anniversary silver congress, 2007, October, Osaka
13. Miwa Yamamoto, Kyoko Izumi, Aso Y RELATIONSHIP BETWEEN COGNITION AND ACTIVITIES OF DAILY LIVING IN ELDERLY WOMEN WITH MILD COGNITIVE IMPAIRMENT, The 1st korea Japan joint conference on community health nursing, 2007, November, Korea
14. Toshiko Otsuka, Arakida M Healthcare measures for promoting smoking reduction among Japanese high school student. ICN Conference 2007. Yokohama
15. Asami E, Hayakawa K Sleep-wake Patterns of Twins and their mothers in the Postpartum Period. The 12th International Congress on Twin Studies, Ghent, 2007
16. Cai Y, Hayakawa K, Onoi M, Kadota K Genetic and

- Environmental Factors Affecting the Life Satisfaction Levels in Later Adulthood; A Twin Study in Japan. The 12th International Congress on Twin Studies, Ghent, 2007
17. Cai Y, Hayakawa K, Onoi M, Kadota K Genetic and Environmental Factors Affecting the Life Satisfaction Levels in Later Adulthood; Twin Study in Japan, Beijing, 2007.
 18. Megumi Takeuchi, Miku Yamashita, Arakida M Examination of factors related to mental quality of life among working woman. 18th Japan-China-Korea Joint Conference on Occupational Health. May, 2007. Nagoya City
 19. Chiaki Okamoto, Kyoko Sano, Michiyo Shirakawa, Miku Yamasita, Oawa Rika, Megumi Takeuchi, Kyoko Fukami, Arakida M. Factors promoting health management in small scale enterprises -From the viewpoint of social capital-. 18th Japan-China-Korea Joint Conference on Occupational Health. May, 2007. Nagoya City.
 20. Saiki S, Hayakawa K, Ono T, Sumida H, Tabuse K Relationship Between Obesity, Hypertension, Tapping Speed and the Decline of Cognitive Abilities in Aged Twins. The 12th International Congress on Twin Studies, Ghent, 2007
 21. Ono T, Hayakawa K, Nishihara R, Shimizu M, Hanafusa A Lifestyle Factors Affecting the Intrapair Differences of Cognitive Decline in Aged Identical Twins. The 12th International Congress on Twin Studies, Ghent, 2007.
 22. Kadota K, Hayakawa K, Doi S, Kanamori M, Cai Y Factors Affecting the Intrapair Differences of Telomere Length in Aged Identical Twins. The 12th International Congress on Twin Studies, Ghent, 2007
- ## 2. 国内学会
1. 和泉京子, 阿曾洋子 「介護保険における「軽度認定者」の1年後の要介護度別にみた重度化の要因」 第66回日本公衆衛生学会総会 2007年10月, 愛媛
 2. 文 鐘聲, 三上 洋, 和田泰三, 石根昌幸, 奥宮清人, 松林公藏 在日コリアン・日本人・韓国在住韓国人高齢者におけるCGAによる比較研究. 第49回日本老年医学会学術集会 2007年6月, 札幌市
 3. 松田葉子, 三上 洋, 服部律子, 林 知里, 早川和生 ITPA (Illinois Test of Psycholinguistic Abilities) を用いた双生児乳幼児における聴力言語理解能力の総合的評価、第1回日本乳幼児保健学会 2007年, 東京
 4. 秋山明子, 三上 洋 在宅死に影響する要因に関する検討 (第一報) 在宅死亡率 80%の在宅医療専門機関を対象とする調査より 第49回日本老年医学会学術集会 2007年6月, 札幌市
 5. 林 知里, 早川和生, 尾ノ井美由紀, 前田知穂, 西原玲子, 小林葉子, 天羽幸子 ツインランゲージと双生児の親密性、社会適応の関係、第21回日本双生児研究学会 2007年, 和光市
 6. 菊池宏幸, 加藤憲司, 早川和生, 尾ノ井美由紀, 林 知里, 門田憲亮, 蔡 洋平 双子高齢者のペア内比較からみた認知能力の低下に寄与する環境因子に関する研究、第21回日本双生児研究学会 2007年, 和光市
 7. 早川和生, 横山美江, 加藤則子 多胎児を産み育てる家庭への保健サービスを考える、第66回日本公衆衛生学会 2007年, 松山市
 8. 早川和生 いのち・ひと・夢:一卵性双生児に見られる変化、第27回日本医学会総会, 展示, 2007
 9. 荒木田美香子, 山下未来 SPS (Stanford Presenteeism Scale) 日本語版の信頼性と妥当性の検討 第2報-8事業所の結果の概要- 第80回日本産業衛生学会 2007年5月, 大阪市
 10. 荒木田美香子, 大塚敏子 就労者の蓄積疲労状況とその予測要因と労働生産性-1 企業における縦断調査- 第66回日本公衆衛生学会 2007年10月, 松山市
 11. 荒木田美香子, 西森理恵, 佐藤潤, 綾部明江 特別養護老人ホームに勤務する介護職の腰痛予防行動に与える職場環境要因の検討-第二報 第10回日本地域看護学会 2007年, 横須賀市.
 12. 杉浦圭子, 伊藤美樹子, 九津見雅美, 三上 洋 介護保険利用下の介護者における就労継続に関わる要因の縦断的検討 第66回日本公衆衛生学会 2007年10月, 松山市
 13. 山北順子, 九津見雅美, 杉浦圭子, 伊藤美樹子, 三上 洋 介護保険サービス利用者における閉じこもりの発生頻度とその特徴 第66回日本公衆衛生学会 2007年10月, 松山市
 14. 溝田友里, 九津見雅美, 山崎喜比古, 伊藤美樹子, 井上洋士, 清水由香, 若林チヒロ, 濱松渉子, 望月美栄子, 大平勝美, 小山昇孝, 後藤智巳, 藤原良次 薬害HIV感染が血友病患者のその後の人生の発達課題の達成におよぼした影響 第66回日本公衆衛生学会 2007年10月, 松山市
 15. 九津見雅美, 溝田友里, 山崎喜比古, 望月美栄子, 伊藤美樹子, 井上洋士, 清水由香, 関由起子, 楠永敏恵, 八巻知香子, 大平勝美, 小山昇孝, 後藤智巳,

- 藤原良次 薬害 HIV 感染患者とその妻の挙子の現状と挙子意向. 第 66 回日本公衆衛生学会 2007 年 10 月, 松山市
16. 山崎喜比古, 溝田友里, 九津見雅美, 井上洋士, 関由起子, 戸ヶ里泰典, 望月美栄子, 伊藤美樹子, 清水由香, 大平勝美, 小山昇孝, 後藤智己, 藤原良次 薬害 HIV 感染生存患者の最近 7 年間の健康と生活の変化及び主観的健康面の変化の関連要因. 第 66 回日本公衆衛生学会 2007 年 10 月, 松山市
17. 井上洋士, 山崎喜比古, 溝田友里, 清水由香, 伊藤美樹子, 関由起子, 若林チヒロ, 戸ヶ里泰典, 横山由香里, 大平勝美, 小山昇孝, 後藤智己, 森戸克則 薬害 HIV 感染患者の追跡的研究（第 1 報）健康と生活面の変化の様相と主観的健康変化の要因 第 21 回日本エイズ学会学術集会 2007 年 11 月, 広島市
18. 山崎喜比古, 井上洋士, 溝田友里, 清水由香, 伊藤美樹子, 関由起子, 若林チヒロ, 戸ヶ里泰典, 横山由香里, 大平勝美, 小山昇孝, 後藤智己, 森戸克則 薬害 HIV 感染患者の追跡的研究（第 2 報）ストレス対処能力 SOC の関連要因および効果. 第 21 回日本エイズ学会学術集会 2007 年 11 月, 広島市
19. 清水由香, 井上洋士, 溝田友里, 山崎喜比古, 関由起子, 若林チヒロ, 八巻知香子, 伊藤美樹子, 大平勝美, 後藤智己, 小山昇孝, 森戸克則 薬害 HIV 感染被害の生存患者の母親・父親が経験した生活の影響と支援ニーズ：2005 年の全国調査から 第 21 回日本エイズ学会学術集会 2007 年 11 月, 広島市
20. 伊藤美樹子, 山崎喜比古, 清水準一 薬害 HIV 感染が患者の家族に与えた影響：きょうだいの経験から. 第 27 回日本看護科学学会学術集会 2007 年 12 月, 東京都
21. 矢野祐美子 いきいきと働く中堅看護師のエンパワーメント体験の分析 第 11 回日本看護管理学会年次大会 2007 年 8 月, 高知市
22. 奥山絢子, 佐々木美奈子, 菅田勝也 看護師のインシデント報告と院内の事故防止活動との関連. 第 11 回日本看護管理学会年次大会 2007 年 8 月, 高知市
23. 奥山絢子 裁判で問題となった看護記録の記載内容 -過去 10 年間の判例調査と具体例の紹介 医療事故・紛争対応研究会第二回年次カンファレンス 2007 年 12 月, 東京都
24. 前田冴子, 矢山 壮, 谷川 緑, 有馬志津子, 三上 洋, 嶺岸秀子, 田中彰子, 千崎美登子, 大石八重子, 萩原修代 病院看護師による禁煙支援に関する要因の検討 第 1 報 禁煙支援や禁煙支援方法に関する学習経験の現状 第 27 回日本看護科学学会学術集会 2007 年 12 月
25. 有馬志津子, 三上 洋, 矢山 壮, 前田冴子, 谷川 緑, 嶺岸秀子, 田中彰子, 千崎美登子, 大石八重子, 萩原修代 病院看護師による禁煙支援に関する要因の検討 第 2 報 禁煙支援の病院間格差に関するマルチレベル分析 第 27 回日本看護科学学会学術集会 2007 年 12 月, 東京都
26. 矢山 壮, 前田冴子, 谷川 緑, 有馬志津子, 三上 洋, 嶺岸秀子, 田中彰子, 千崎美登子, 大石八重子, 萩原修代 病院看護師による禁煙支援に関する要因の検討 第 3 報 病院看護師による禁煙支援に関する共分散構造分析 第 27 回日本看護科学学会学術集会 2007 年 12 月, 東京都
27. 矢山 壮, 吹本小百合, 有馬志津子, 三上 洋 大学祭における禁煙サポートの実施から見えた大学生の禁煙に対する意識の実態 第 1 報 第 66 回日本公衆衛生学会 2007 年 10 月, 松山市
28. 吹本小百合, 矢山 壮, 有馬志津子, 三上 洋 大学祭における禁煙サポートの実施から見えた大学生の禁煙に対する意識 第 2 報 第 66 回日本公衆衛生学会 2007 年 10 月, 松山市
29. 溝越あゆみ, 安平真理子, 有馬志津子, 三上 洋 中学生への喫煙防止教育実施と評価 第 1 報 教育の実施と内容・方法への生徒からの評価 第 66 回日本公衆衛生学会 2007 年 10 月, 松山市
30. 安平真理子, 溝越あゆみ, 有馬志津子, 三上 洋 中学生への喫煙防止教育実施と評価 第 2 報 比較研究デザインによる教育効果の検証 第 66 回日本公衆衛生学会 2007 年 10 月, 松山市
31. 有馬志津子, 前田冴子, 矢山 壮, 三上 洋 病院看護師による禁煙支援に関する要因一学部生へのたばこ教育プログラムとの関連一 第 66 回日本公衆衛生学会 2007 年 10 月, 松山市
32. 嶺岸秀子, 千崎美登子, 松原 康美, 田中彰子, 稲吉光子, 有馬志津子, 三上 洋 變化ステージ理論に基づく禁煙支援を受講した病院看護師の知識と活用の変化-パイロットスタディ 第 21 回日本がん看護学会 2007 年 2 月, 東京都
33. 西原玲子, 服部律子, 小林葉子, 早川和生 双生児の母親の育児不安の特徴；育児が子どもに与える影響 第 21 回日本双生児研究学会 2007, 和光市
34. 和泉京子, 山本美輪, 阿曾洋子 「軽度要介護認定」高齢者の要介護度の推移の状況とその要因」 第 49 回日本老年社会科学院大会 2007 年 6 月, 札幌市
35. 和泉京子, 山本美輪, 阿曾洋子 介護保険における

- 「軽度認定者」の排泄の失敗が 1 年後の要介護度の推移等に及ぼす影響 第 10 回日本地域看護学会学術集会 2007 年 7 月, 横須賀市
36. 和泉京子, 山本美輪, 阿曾洋子 介護保険における「軽度認定者」の転倒が 1 年後の要介護度の推移等に及ぼす影響 第 27 回日本看護科学学会学術集会 2007 年 12 月, 東京
37. 片山 恵, 阿曾洋子, 伊部亜希, 徳重あつ子, 岡みゆき, 木村 静 シムス位ポジショニングを用いた高齢者への自然排便を促す援助一腸蠕動運動の変化ー 第 12 回日本老年看護学会学術集会 2007 年 11 月, 神戸市
38. 片山 恵, 阿曾洋子, 伊部亜希, 徳重あつ子, 岡みゆき, 木村 静 腸蠕動からみたシムス位ポジショニングによる自然排便への可能性の検証 第 27 回日本看護科学学会学術集会 2007 年 12 月, 東京
39. 徳重あつ子, 阿曾洋子, 伊部亜希, 岡みゆき, 片山 恵, 高田幸恵, 前田知穂, 木下慈子 健康な高齢者におけるベッド上坐位姿勢の角度の違いによる自律神経活動の比較 日本人間工学会第 15 回システム大会 2007 年 3 月, 八王子市
40. 山本美輪, 阿曾洋子 認知症高齢者への身体的抑制時について一般病棟勤務女性看護師が抱くジレンマコーピング因子の検討 日本看護科学学会学術集会 2007 年 12 月, 東京
41. 大塚敏子, 荒木田美香子 喫煙防止に関する環境整備が高校生の喫煙行動及び喫煙意思に与える影響の検討 第 66 回日本公衆衛生学会 2007 年 10 月, 松山市
42. 林真由美, 荒木田美香子 知的障害をもつ保護者の性支援に関する調査～子どもの性指導にむけた保護者の支援希望の実態～ 第 42 回日本発達障害学会 2007 年 8 月, 山口市
43. 林真由美, 荒木田美香子, 岩本哲志, 林田雅文 知的障害者における性教育効果の検討「自分の身体を守る」知識・スキル学習 第 20 回日本発達障害支援システム学会 2007 年 12 月, 横浜市
44. 浅見恵梨子, 井上京子, 末原則幸, 早川和生 母乳哺育に成功した双生児の授乳状況に関する症例報告 第 21 回日本双生児研究学会 2007 年, 和光市
45. 葵 洋平, 早川和生, 門田憲亮, 菊池宏幸, 尾ノ井 美由紀 高年齢双生児における人生満足度に関与する要因の研究、第 21 回日本双生児研究学会 2007 年, 和光市
46. 尾ノ井美由紀, 前田知穂, 早川和生 双生児における初語の時期の関連要因と正確形成への影響の研究、第 10 回日本地域看護学会 2007 年, 横須賀市
47. 田丸朋子, 阿曾洋子, 阪井千裕, 本田容子, 西村千生 作業姿勢から見た患者移動動作の看護者への負担の違いについて 第 15 回看護人間工学部会 2007 年 9 月, 札幌市
48. 山下未来, 荒木田美香子 Stanford Presenteeism Scale 日本語版の信頼性と妥当性の検討第 1 報—企業の検討からー 第 80 回日本産業衛生学会 2007 年 5 月, 大阪市
49. 西森理恵, 荒木田美香子, 佐藤 潤, 綾部明江 特別養護老人ホームに勤務する介護職の腰痛予防行動に与える職場環境要因の検討 第 10 回日本地域看護学会 2007 年, 横須賀市
50. 中谷安寿, 山北順子, 杉浦圭子, 九津見雅美, 伊藤美樹子, 三上 洋 介護保険制度改正に伴い新しく要支援 2 に認定されたことによる困難に関する実態調査 第 66 回日本公衆衛生学会 2007 年 10 月, 松山市
51. 森上和恵, 松浦治代, 三上 洋 鳥取県西部地震被災高齢者の生活力量に関する研究 被災 3 年後独居高齢者の生活から 第 66 回日本公衆衛生学 2007 年 10 月, 松山市
52. 佐伯志穂, 早川和生 中高年の一卵性双生児における肥満・高血圧の同胞間差異と知的機能の関連性、第 66 回日本公衆衛生学会 2007 年, 松山市
53. 大野智代, 早川和生 高齢双生児の同胞間比較からみた認知機能低下のペア内差異と環境要因の関連性、第 66 回日本公衆衛生学会 2007 年, 松山市
54. 門田憲亮, 早川和生 中高年双生児における聴力の同胞間差異と認知機能 第 66 回日本公衆衛生学会 2007 年, 松山市
55. 中谷安寿, 山北順子, 九津見雅美, 杉浦圭子, 三上 洋 介護保険改正にともなう介護予防通所系サービスの選択的サービス利用状況 第 49 回日本老年医学会学術集会 2007 年 6 月, 札幌市

V 受賞 なし

VI 特許 なし

VII 共同研究・外部資金

1. タイムスタディ等の定量的な検討を踏まえたがん医療における専門スタッフの効果的な配置や支援のあり方に関する研究 大野ゆう子 平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業, 2007 年
2. 医療サプライチェーンとしての大学附属病院の運営評価方法：業務量調査を基盤として 大野ゆう子 科学研究費補助金 基盤研究 B 2007 年

3. 仰臥位から座位への姿勢変化がもたらす脳活動からみた看護援助の検証 阿曾洋子(代表), 矢野祐美子, 新田紀枝, 細見明代, 和泉京子, 山本美輪, 伊部亜希, 科学研究費補助金 基盤研究C 2007年
4. 褥瘡発生に関する実証的研究 阿曾洋子(研究リーダー), 羽賀知行, 伊部亜希, 宮嶋正子, 石澤美保子, 高田幸恵, 安川博隆, 吉住達也, 大塚健二, 産学共同シーズイノベーション化事業 顕在化ステージ 2007年
5. 要介護認定における要支援及び要介護1の要介護度の推移の状況とその要因からみた介護予防プログラムの開発に関する研究 和泉京子(代表), 阿曾洋子, 津村智恵子, 上野昌江, 山本美輪 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業) 2007年
6. 嶺岸秀子(代表), 稲吉光子, 久保五月, 平田香織, 三上 洋, 有馬志津子 変化ステージ理論に基づく禁煙支援の看護教育・実践に導入するモデル作成 文部科学省研究費補助金(基盤研究C) 2007年
7. 早川和生(代表), 尾ノ井美由紀 乳幼児期における双生児言葉(宇宙語)現象の発生予防とファミリーケアの研究, 文部科学省科学研究費補助金(萌芽) 2007
8. 早川和生(共同研究), 新小田春美(代表) 夜型社会における子どもの睡眠リズムにおける心身発達の前方視的研究と介入法に関する研究、厚生労働省厚生科研, 2007
9. 荒木田美香子(分担研究) 山縣然太郎(代表) 平成19-21年度厚生労働科学研究補助金(子ども家庭総合研究事業) 健やか親子21を推進するための母子保健情報の利活用および思春期やせ症防止のための学校保健との連携によるシステム構築に関する研究
10. 荒木田美香子(分担研究) 平成17-19年度文部科学研究費補助金(基盤研究C) 保健室における養護教諭の初期対応に関する養護診断の開発
11. 荒木田美香子(研究代表) 平成19年度労働問題に関する研究助成 健康状態の労働生産性への影響測定尺度-日本語版 Stanford Presenteeism Scale-の標準化に関する研究
12. 荒木田美香子(共同研究) 麻原きよみ(代表) . 保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する研究 平成19年度厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究事業)
13. 健康高齢者と長期臥床高齢者の温度伝導率に基づく褥瘡発生予測ツールの開発 伊部亜希 若手研究(スタートアップ) 2007年
14. 臨床実習運動型シミュレーション集中トレーニング法による面接教育プログラムの開発 矢野祐美子(代表) 科学研究費補助金 基盤研究C 2007年
15. 有馬志津子 看護師による禁煙支援の実践とその効果の検証 文部科学省研究費補助金(若手研究B) 2007年

VIII 主催学会 なし

病院看護部

1. 原著

1. 糸 桂子, 田墨恵子, 松村奈津子, 近藤穂, 水木満佐央 インフューザーポンプを使用した在宅肝動注化学療法インシデント・サーベイランス 癌と化学療法 第34巻 第13号 癌と化学療法社
2. 誌上発表
 1. 鍋谷佳子 ここまでできる! サーベイランスの効果 尿道留置カテーテル関連尿路感染サーベイランス INFECTION CONTROL VOL. 16 No2 p. 36-40 メディカル出版
 2. 藤原優子: 糖尿病足病変とフットケア、臨床看護、Vol. 33、No1、p59-65、2007
 3. 鍋谷佳子 特集「本当にこれでいいの?」に答える MRSA の基本対策再チェック! MRSA 患者への看護処置・ケア 消毒・滅菌・清掃の具体策 エキスパートナース 2007年10月号 照林社
 4. 鍋谷佳子 第9回日本感染管理ネットワーク研修会 実践報告「施設内での改修工事における感染管理」 日本感染管理ネットワーク会誌 VOL. 4 2006
 5. 平山三千代 特集「学校教育現場に生かす危機管理体制」 臨床現場における安全管理体制—国の政策を受けた— 臨床看護局の取り組みー 学校保健研修 第49巻第1号 25-32頁
 6. 前田正美 特集「職務の継続意欲を高める支援」スタッフが看護のやりがいを感じるために 看護 2007年6月号 日本看護協会出版会
 7. 朝野和典, 橋本章司, 鍋谷佳子 MRSA の感染対策 ICT がおさえておきたい MRSA 対策のすべて 2007年 INFECTION CONTROL 春季増刊号 メディカル出版
 8. 鍋谷佳子 特集「自施設に最適なサーベイランス」 ICT の役割分担と院内リンクエージのポイント 感染対策 ICT ジャーナル 2007年 Spring ヴァンメディカル

9. 鍋谷佳子 特集「Q&Aで学ぶサーベイランス開始への第1歩」チームで実施する手術部位感染サーベイランス INFECTION CONTROL 2007年6月号 メディカ出版
 10. 鍋谷佳子 特集「カテーテル早わかり Q&A」尿道留置カテーテルの管理 INFECTION CONTROL 2007年8月号 メディカ出版
 11. 鍋谷佳子 集団感染を防ぐ 月刊ナーシング 2007年9月号 学研
 12. 鍋谷佳子 病院感染対策の基本 1.標準予防策 2.感染経路別予防策 侵襲処置別感染防止 2.尿道留置カテーテル留置患者の感染防止対策 4.手術部位の創感染防止対策 感染制御ナーシング 2007年4月出版
 13. 田墨恵子 がん領域の安全確保における薬剤師の役割 看護師が期待する薬剤師の役割 加藤裕久編 月間薬事 2007年第49巻10号 1505-1507頁
 14. 田墨恵子 乳がん患者のケア—化学療法とサポートグループを中心に— 緩和ケア 2007年第49巻10号 334-337頁
 15. 田墨恵子 食欲不振・味覚障害 濱口恵子, 本山清美編 がん化学療法ケアガイド 中山書店 2007年 89-96頁
 16. 田墨恵子 末梢神経障害 濱口恵子, 本山清美編 がん化学療法ケアガイド 中山書店 2007年 120-126頁
 17. 田墨恵子 外来化学療法における安全装置付きポート穿刺針“Huber Plus”の管理の実際と課題 2007年イザイ第4号 28-29頁
 18. 田墨恵子 通院治療を必要とする患者へのサポート 化学療法・放射線療法の併用 濱口恵子, 小迫富美恵 他編 がん患者の在宅療養サポートブック 日本看護協会出版会 2007年 253-260頁
 19. 田墨恵子, 近藤礎監修 皮下埋込型ポートの管理を行う患者様へ(DVD) メディオバンク 2007年
 20. 藤原優子 検査を活かした療養指導:合併症がある患者さん、糖尿病ケア、Vol.4、No7、p24-29、2007.
 21. 牧野信裕, 嶋田成美, 有馬美緒子 眼科手術看護マニュアル オペナーシング 2007年秋季増刊 メディカ出版
 22. 田中裕, 小川尚子, 洪淑姫, 後藤美紀, 芝原奈緒, 谷口園代, 京力深穂, 松嶋麻子, 杉本壽, 霜田求 臨床倫理ノート1 救急領域における臨床倫理への取り組み 救急医学 Vol.31 No.8 P971-975 2007年8月へるす出版
 23. 田中裕, 小川尚子, 京力深穂, 松嶋麻子, 霜田求 臨床倫理ノート 家族の反対により侵襲的治療を施行しなかった重症くも膜下出血の1例 Vol.31 No.9 P1107-1110 2007年9月救急医学 へるす出版
 24. 京力深穂, 田中裕, 小川尚子, 松嶋麻子, 霜田求 臨床倫理ノート3 侵襲的治療を断念しQOLの保持を選択したガス壊疽を併発した末期癌患者の症例 Vol.31 No.11 P1553-1559 2007年10月 救急医学 へるす出版
 25. 小川尚子, 田中裕, 京力深穂, 松嶋麻子, 霜田求, 臨床倫理ノート4 股関節離断術の医学的適応が問われた殿部ガス壊疽の症例 Vol.31 No.12 P1679-1682 2007年11月 救急医学 へるす出版
 26. 後藤美紀, 田中裕, 小川尚子, 芝原奈緒, 京力深穂, 松嶋麻子, 霜田求 臨床倫理ノート5 宗教上の理由で輸血を拒否した重症多発外傷の1例 Vol.31 No.13 P1791-1796 2007年12月 救急医学 へるす出版
 27. 島袋正恵 エキスパートが解説 呼吸ケアスタッフトレーニング 50問 Vol.5 No.11 P57-61 2007年11月 呼吸器ケア メディカ出版
 28. 浦出紗希, 小川尚子, 高井紀子, 芝原奈緒, 後藤美紀, 京力深穂 救急領域における末期癌症例の臨床倫理の検討 第96回近畿救急医学会
- ### 3. 学会発表
1. 中村詠美 卵巣癌・卵管癌・腹膜癌に対するPaclitaxel・Carboplatin併用療法時における副作用の要因に関する検討 第21回日本がん看護学会学術集会
 2. 木下直美, 原田雅子, 山内真里, 雲山由美子, 影山典子, 山崎容子 FAP療法を受ける食道癌患者の口内炎予防-口腔ケア指導統一を試みて- 第21回日本がん看護学会学術集会
 3. 谷村照美 腎移植後における個室隔離について-他施設への実態調査より- 第40回日本臨床腎移植学会
 4. Yukika Imai Kamino Yumiko Ohno THE TREND OF “NARRATIVE” ON THE RESEARCH OF CANCER NURSING Second International Conference Japanese Society of The Cancer Nursing
 5. 井口和江, 和佐勝史, 小児がん患者における中心静脈ルート管理の現状と工夫 第29回近畿小児がん研究会
 6. 矢田(橋本)奈美子, 下屋浩一郎, 東田有加, 河村有亜、長岡淳子, 田中春美、今田恭子, 吉岡キヨ子, 村田雄二 産科外来における妊娠婦に対するDomestic violence (DV)に対する取り組み(第2報)

第 47 回日本母性衛生学会学術集会

7. 田中敏子, 橋爪淳子, 長岡淳子, 田中春美 母児同室中の褥婦に見られる乳頭トラブルの実態 第47回日本母性衛生学会学術集会
8. 松崎宏志, 瀬尾恵子, 早川友理, 加藤有美, 京力深穂, 清水健太郎, 中川雄公, 田崎修, 杉本壽 脊髄損傷患者におけるNIPPVの効果に関する検討 第34回日本集中治療医学会学術集会
9. 鳥谷梨絵, 太田悦子, 東村昌代, 鍋谷佳子 当院における形成外科SSIサーベイランス 第22回日本環境感染学会総会
10. 木村直美, 鍋谷佳子, 田中春美 新生児におけるカテーテル関連血流感染の実態 第22回日本環境感染学会総会
11. 下嶋真紀子, 西功, 鍋谷佳子, 橋本章司, 浅利誠志, 朝野和典 薬剤感受性からみたMRSAの疫学 第22回日本環境感染学会総会
12. 内海桃絵, 山田正己, 西功, 鍋谷佳子, 浅利誠志, 朝野和典, 牧本清子 救命救急センターにおける尿道カテーテル挿入患者の細菌尿発生要因についての検討 第22回日本環境感染学会総会
13. 山田正己, 内海桃絵, 西功, 鍋谷佳子, 浅利誠志, 朝野和典, 牧本清子 尿路感染サーベイランスにおける尿試験紙の活用—尿試験紙の測定者間一致率の検討— 第22回日本環境感染学会総会
14. 鍋谷佳子 シンポジウム「耐性菌制御を目的として院内感染対策～職種別の立場での対策」 ICN(感染管理認定看護師)の立場から 第61回国立病院総合医学会
15. 南朋子, 植園法子 脳卒中クリティカルパスの作成と導入後の評価 第2回病院・在宅医療連絡会ジョイントセミナー
16. 東田有加, 田中春美 周産期DV(Domestic Violence)スクリーニングに関する検討 第21回日本助産学会学術集会
17. 藤原優子, 松久宗英, 片上直人, 藤澤智巳, 笠山宗正, 船橋徹, 山崎義光, 下村伊一郎 フットケア外来受診糖尿病患者におけるTBIとABIの比較検討 第50回日本糖尿病学会年次学術集会
18. 藤原優子 糖尿病足病変とフットケア—看護師が行う予防的フットケアの実際— 第52回日本透析医学会学術集会
19. 田墨惠子, 恒藤暁, 大野由美子, 谷向仁, 松岡洋人, 阪上学, 井上隆弥, 松田陽一, 安部剛, 岡本禎晃, 水木満佐央 大学病院における緩和ケアチームの活動 化学療法サポートの視点から 第12回日本緩和

医療学会総会

20. 松村奈津子, 田墨惠子, 糸桂子, 近藤穂, 水木満佐央 外来での在宅リザーバー自己管理指導の経験 第31回リザーバー研究会
21. 糸桂子, 田墨惠子, 松村奈津子, 近藤穂, 水木満佐央 在宅動注化学療法インシデントサーベイランス 第31回リザーバー研究会
22. 藤本美雪 汚物室における消臭効果の検討 第38回日本看護学会—看護総合—
23. 三村普子, 富田敏司, 藤野裕士, 表八洋子, 須藤昌子, 河野総江 赤外線サーモグラフィを用いた人工呼吸中における人工鼻フィルターの熱損失について 第29回日本呼吸療法医学会学術総会
24. 是澤順子, 富田敏司, 藤野裕士, 表八洋子, 須藤昌子, 河野総江 当ICUにおける人工呼吸器アラーム発生状況の実態調査—人工呼吸器データ集中管理システムより— 第29回日本呼吸療法医学会学術総会
25. 青木祐子 載石位におけるSUDスケールを用いた大腿挙上角度の検討 第9回日本褥瘡学会学術集会
26. 吉田裕美 糖尿病患者の再入院における感情負担度の変化 第12回日本糖尿病教育・看護学会学術集会
27. 中村茜, 圓見千代, 峰孝子 洗髪ケアにおける看護師の腰部負担の現状—洗髪ケア中の姿勢と姿勢に対する意識に注目して— 第15回看護人間工学部会総会
28. 益田ゆかり 患者の病状に対する悲嘆から、自殺念慮を訴えた家族への看護介入 第13回日本精神科看護学会—精神科救急・急性期看護—
29. 渋谷絵津子, 細川智子, 田口恵子, 有馬実緒子 新人教育計画に関する新しい試み 第29回日本手術医学会総会
30. 湯山真由 乳癌術後のドレーン留置期間に影響を与える因子の調査 第38回日本看護学会—成人看護—I
31. 小巻正泰 人工股関節全置換術前患者の看護介入についての一考察—股関節QOL評価(Oxford Hip Score)を用いて— 第34回日本股関節学会学術集会
32. 秋元環, 上杉祐子, 斎藤文子 THA患者の退院後の生活状況の実態 第34回日本股関節学会学術集会
33. 吉田暁子, 小巻正泰, 鹿島泰子 看護師の離職要因の検討—職務満足度調査から— 第38回日本看護学会—看護管理—
34. 坂藤昌子, 富永信子, 新田紀枝, 阿曾洋子 入院時に退院支援が必要と判断された患者の特性—退院支援スクリーニング票の分析から— 第38回日本看護学会—看護管理—

35. 横熊美由紀 手順統一後に発生した内服与薬インシデント報告の分析 第6回大阪看護教育管理学会
36. 久保田香 松宮護郎 藤田知之 萩原邦子 加藤貴充 関谷直純 福島教偉 澤 芳樹 心臓移植待機中の埋込み型左室補助人工心臓装着患者における在宅管理 第26回日本心臓移植研究会
37. 久保田香 松宮護郎 藤田知之 萩原邦子 加藤貴充 関谷直純 斎藤俊輔 福島教偉 澤 芳樹 心臓移植待機中の埋込み型左室補助人工心臓装着患者における在宅管理 第43回日本移植学会総会
38. 小川馨, 関真奈美, 久保田香, 萩原邦子 臓器別にみたレシピエント移植コーディネーターの業務の特徴 第43回日本移植学会総会
39. 谷川緑, 表八洋子 退院指導に対する虚血性心疾患者のニーズと看護師の指導の現状 第19回大阪府看護研究会
40. 岸宏美, 圓見千代 化学放射線同時併用療法に伴う倦怠感に対するアロマセラピーを用いた足浴の効果 第19回大阪府看護研究会
41. 篠原有美, 遠藤淑美 精神科病棟における居室性を兼ね備えた保護室のメリットとデメリット 第19回大阪府看護研究会
42. 能芝範子, 高見沢恵美子 ICU看護師が認識する人工呼吸中の術後患者の望ましい鎮静状態と鎮静管理への影響要因 第27回日本看護科学学会学術集会
43. 師岡友紀, 谷浦葉子, 三木佐登美, 小林珠美, 福録恵子, 鈴木純恵 臨地実習時の身体侵襲を伴う看護技術の経験について(1)一経験状況と到達度評価の関連性の検討一 第27回日本看護科学学会学術集会
44. 師岡友紀, 谷浦葉子, 三木佐登美, 小林珠美, 福録恵子, 鈴木純恵 臨地実習時の身体侵襲を伴う看護技術の経験について(2)ー新卒看護師の臨地実習に対する意向の分析からー 第27回日本看護科学学会学術集会
45. 井口和江, 川口博美, 平林高子 小児がんで化学療法を行った患者の入院記録からみた看護診断の変化ー2000年と2007年に立案された看護診断・共同問題を比較してー 第23回日本小児がん学会学術集会
46. 伏見典子, 有馬美緒子 同一施設に於ける複数同時脳死移植を経験して 第52回日本手術看護学会大阪地区看護研究発表会
47. 田口恵子, 千賀ゆかり, 有馬美緒子 看護師の立場から見た内視鏡手術 第20回近畿内視鏡外科研究会
48. 京力深穂 合同カンファレンスにおける救急看護認定看護師の役割 第10回日本臨床救急医学会学術集会
49. 入江美歌, 京力深穂 救命センターにおける尿路感染に関する検討 第9回日本救急看護学会学術集会
50. 新開裕幸, 京力深穂, 松嶋麻子, 池側均 「救急外来看護」 看護師医師合同カンファレンスの取り組みーE R M S を用いた事例を通してー 第10回日本臨床救急医学会学術集会
51. 後藤美紀, 小川尚子, 芝原奈緒, 浦出紗希, 松本直也, 松嶋麻子, 鶴飼 真, 京力深穂, 田中 裕 侵襲的治療を断念し、QOL の保持を選択した、ガス壊疽を併発した末期癌患者の症例 第9回日本救急看護学会
52. Yukika Imai Kamino, RN, MN, Yumiko Ohno, RN, OCNS, MN THE TREND OF "NARRATIVE" ON THE RESEARCH OF CANCER NURSING 日本がん看護学会 第2回国際学術集会 2007年2月
53. 三木佐登美 子宮体がんの化学療法クリティカル・パスの実態と看護診断の活用 第13回日本看護診断学会学術大会
54. 小阪田香織、阿曾洋子、岡みゆき、徳重あつ子、小林蘭子、中村貴子、福崎円香車椅子上の座位及びクッションの有無が臀部の体圧へ与える影響 第4回日本褥瘡学会近畿地方会

保健学修士論文

氏名	論文題目	指導教員
池本 円香	回復期リハビリテーション病棟における看護業務の実態調査 －タイムスタディを用いて－	鈴木教授
乾 つぶら	妊娠末期から産後4ヶ月の母親の睡眠の質及び睡眠覚醒リズム等の変化	島田教授
王 彩靈	中医学論理に基づく自己健康管理システムの構築	大野教授
太栗 里香	若手看護師のQuality of Working Life向上のための個人要因と組織要因の検討	荒木田教授
門田 憲亮	環境因子が関与する老化遺伝子発現のエピジェネティクス研究	早川教授
川内 恵美子	二次医療機関の国公立病院で働く若手助産師・看護師の職務満足度の比較	大橋教授
木下 慶子	口腔ケア（スポンジマッサージ）が脳活動に及ぼす影響の検証 －脳波の周波数解析から－	阿曾教授
高 亜罕	小児睡眠脳波解析におけるC A P法とR & K法の比較検討	大野教授
鈴木 幸子	妊娠先行結婚と母親の児への愛着形成・母親役割獲得・夫婦関係との関連	島田教授
重山 優子	芸術を通した関わりにおける他者理解の経験に関する研究 －看護における患者理解の新たな視点－	荻野教授
朱 燦群	I Cタグを用いたアルツハイマー病患者の徘徊行動の関連因子の研究	牧本教授
竹内 恵	労働者の健康状態とワーク・ファミリー・コンフリクトに影響する要因の検討	荒木田教授
田端 奈々	治癒モデルを用いたがん患者の要観察期間推計	大野教授
中谷 安寿	ホームヘルパーの仕事意欲測定尺度開発およびその関連要因の検討	三上教授
西田 真由子	尿道留置カテーテルのケアと継続教育のニーズに関する全国質問紙調査	牧本教授
早瀬 麻子	妊娠末期から産後の母親の生活リズムが乳児の概日リズムに及ぼす影響	島田教授
春山 由美子	インフルエンザワクチン被接種者におけるワクチンの有効性に関する研究	荻野教授
深水 京子	保育所における保護者への保健情報の提供を推進するための要因の検討	荒木田教授
藤田 優一	小児看護を実践する看護師の属性および個人特性と職務ストレスおよび離職願望との関連 －病棟形態による分析と比較－	藤原教授
古島 大資	麻疹の流行時対策及び予防接種の小児麻疹流行抑制効果に関する研究 －数理モデルによるシミュレーション－	大野教授
村上 亜弥	がんの生存解析におけるマルコフモデルの適用	大野教授
山田 綾	発達障害児の学校生活適応のための親と教師の関係と取り組み －良好な関係にある親と教師のペア分析から－	三上教授
山邊 えり	スギ花粉症患者のQ O L調査　－眼症状を中心に－	荻野教授
劉 筱丹	中国と日本における看護の専門職的自律性に関する比較研究	阿曾教授

保 健 学 博 士 論 文

氏 名	論 文 題 名	指導教員
越 野 八重美	動作習熟過程の数量的検討	大野教授
吹 田 麻 耶	クローン病者の食生活体験に関する研究	鈴木教授
石 澤 美保子	仙骨部褥瘡周囲皮膚におけるドレッシング管理状況および創改善状態とバリア機能との関連についての検証	阿曾教授
久我原 朋 子	つわりと妊婦の口腔衛生に関する研究	大橋教授
中 村 亜 紀	高齢者における要介護状態の変化とその要因に関する研究	大野教授
山 本 敬 子	末期がん患者の快適感を導く密封式足浴の有用性に関する研究 －自律神経系および精神神経免疫活性からみた急性反応－	阿曾教授
野 村 美千江	アクションリサーチによる地域の初期認知症高齢者と家族介護者のエンパワメント	牧本教授